

■F-4EJ改ができるまでの経緯

1980年代初頭、航空自衛隊はF-4EJに加えて新鋭となるF-15戦闘機の配備を開始した。要撃飛行隊10個を整備する計画としてF-15を4個飛行隊、F-4EJを6個飛行隊とするのだが、計画達成の頃には現行のF-4EJのリタイアがはじまる。全機をF-15に改変したい考えではあったが、限られた予算では不可能だった。

この対策としてF-4EJの使用延長策が考えられた。本機の耐用時間は3000時間とされていたが、米空軍で実施されている航空機保全プログラム(ASIP)を導入することで5000時間に延長可能となる。ASIPとは個々の機体において点検および管理を詳細におこない、航空機の寿命を1機ごとに判定していく方式である。同時に電子装備などの能力向上をはかり、90年代の航空脅威にも対抗できるものと判断された。

防衛庁(当時)は昭和57年(1982年)度の防衛白書で「防衛力の整備及び運用における効率化、合理化を進める見地から、F-4EJについても、この新しい方式を採用することによって延命しようとしているものであり、これにより飛行時間にして2000時間以上、年数にして10年程度の延命を見込んでいる。」と説明している。

航空幕僚監部は昭和55年度に米国へ調査団を送って研究を開始し、翌年より改修設計作業が始まった。昭和57年度にテスト費用を含め85億円の予算が与えられ、昭和58年5月18日より改修作業が開始。最初の改修機となった機体番号07-8431は昭和59年7月17日に愛知県小牧飛行場で初飛行に成功した。三菱重工によるテスト後12月13日に航空自衛隊へ引き渡され、岐阜の航空実験団で引き続き試験が繰り返されることになった。

■改修の項目

F-4EJ能力向上機の主眼とするところは、搭載電子機器の換装による要撃能力の向上であった。能力向上計画の初期段階では米空軍のF-4EJにない主翼前縁スラットを装着し旋回性能を上げる案もあったが、費用対効果もあり見送られた。これには、要撃戦闘を主眼に考える航空自衛隊にとっては前縁スラットによる抵抗の増加で上昇力や速度性能が犠牲になることを嫌ったとも考えられる。

搭載レーダー能力の向上として、機首にあるレーダー装置はF-16に装備されているものとほぼ同様のウエスティングハウス製

AN/APG66に、本機に求められる機能を追加したAN/APG66J(三菱電機)に変更された。これにより、それまでなかったロックダウン機能や搜索可能範囲も向上した。

昭和51年9月に起きたMIG-25事件で、要撃に上がったF-4EJは低空侵入した本機を取り逃がし函館空港への強行着陸を許してしまった。F-4EJの搭載するAN/APQ-120レーダーでは機体下方に存在する航空機の発見は困難であり、この反省からも新型レーダーへの換装は不可欠であった。AN/APG66Jは多彩な機能を備えており、下方の目標に空対空ミサイルを発射することや、格闘戦用の搜索モード、空対地測距、地形マッピング、洋上搜索モードを備えている。また、F-16搭載型には無かったスパー空対空ミサイルの制御機能も追加、運用が可能となった。

慣性航法装置INS(J/ASN4)はそれまでのアナログ式からデジタル式に変更され、精度と信頼性が向上した。

セントラルコンピュータはアナログ式からデジタル式のJ/AYK-1(三菱電機)となり、以前より専守防衛を掲げる上で問題となり省かれていた爆撃能力が復活した。防衛庁が昭和57年3月9日の衆議院予算委員会にて「F-4EJ能力向上機の爆撃計算機能は、F-4EJ導入時に取り外した専用の爆撃装置とは異なり、限定的なものである。」と述べているが、これは低空からの核攻撃などに用いられるトス(ロフト)ボミングの諸元計算がおこなえないことを意味するものと考えられる。

また搭載ミサイルの拡大、近代化がなされた。F-4EJが搭載するAIM-4D、AIM-9E/P、AIM-7Eの空対空ミサイルに加え、当時の最新型であるAIM-9LとAIM-7F/M、国産の90式空対空誘導弾(AAM-3)が搭載可能となった。新たな機能として空対艦ミサイルも運用可能となり、国産の80式空対艦誘導弾(ASM-1)、93式空対艦誘導弾(ASM-2)が使用できる。

対艦攻撃はレーダーの洋上搜索モードで目標を発見した後、INSからの情報と目標までのデータをミサイルに入力して発射することで、あとはミサイルが内蔵する航法システムとレーダー、赤外線シーカーが目標を捕捉して命中する。

レーダー警戒装置は敵のレーダー波を逆探知し警報を発する装置だが、本機に搭載されるJ/APR-6は敵の方位を検出して、ブラウン管ディスプレイに表示する。垂直尾翼後端のフェアリングがそのアンテナである。

操縦席には光学式照準器がヘッドアップディスプレイ(HUD)に変更となり、計器盤の一部もデジタル化された。HUD画面には照準情報や速度などの様々な飛行情報が集約され表示されることで、状況の把握がより容易になった。

このように電子装備が一新されることで、外形こそ大きな変更は見られないものの、F-4EJは近代的な戦闘機に生まれ変わる事ができたのである。

■部隊配備と退役まで

F-4EJ改の作業は昭和62年度予算で8機が認められ、生産が開始された。平成元年(1989)11月24日に初号機が納入され部隊配備が始まった。最終的に試改修を含めて90機が改修された。要撃部隊として第306飛行隊を皮切りに第301飛行隊、第302飛行隊がF-4EJから更新され、また支援戦闘機部隊としてF-1の退役に伴い、第8飛行隊にもF-4EJ改が配備されることになった。

デジタル化されたF-4EJ改は、従来のF-4EJの操作方法とは全く異なり、それまでのアナログ機器で飛んでいたベテランパイロットには難しいと感じられたようだ。HUDには様々な数字が映し出され、それを読み込むことになるために慣れるまで時間がかかったという。逆にデジタル世代の若いパイロットには古いF-4EJに乗れない者も増え、改修されなかった古い機体は徐々に姿を消していった。

航空自衛隊パイロットにとって、F-15やF-2戦闘機はスポーツカーのようだと形容されることが多いが、F-4はダンプカーだと呼ばれた。艦上戦闘機として設計された機体構造は頑丈で、荒い着陸でも大丈夫だという。本機での経験は飛行時間が500時間ではまだまだ、1000時間を超えて一人前と言われており、飛ばすにも癖があるといわれているが、慣れれば安定した良い機体と言われた。

航空自衛隊での採用から約50年をかけた我が国の空を守り続けた本機も、令和2年(2020年)度をもって姿を消すことになる。日本の飛行機ファンから最も、また海外のF-4ファンからも愛された自衛隊機といえる。半世紀を務めた防人に敬意を表したい。

JAPAN
AIR
SELF-
DEFENSE
FORCE

F-4EJ Kai FIGHTER

1/72スケール プラスチックモデル組み立てキット

航空自衛隊 F-4EJ改 戦闘機

Kit No. FP38



組立説明書

パーツリスト

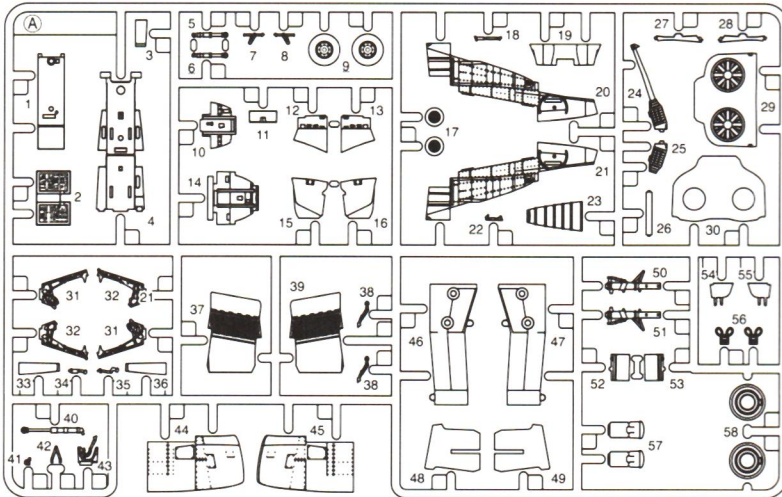
パーツを切り離す前に下の図と各ランナーを見比べ、パーツの不足や破損がないかを確認してください。

Check the contents missing or/and defective shape with the reference to the parts drawing shown below.

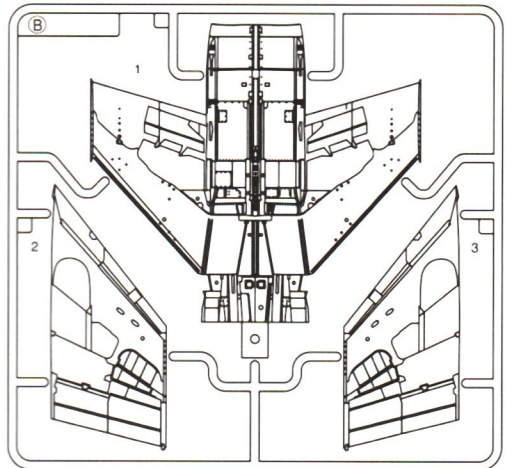
部のパーツは使用しません。

Parts not for use.
Nicht verwenden
Non utilisés

A ランナー Tree



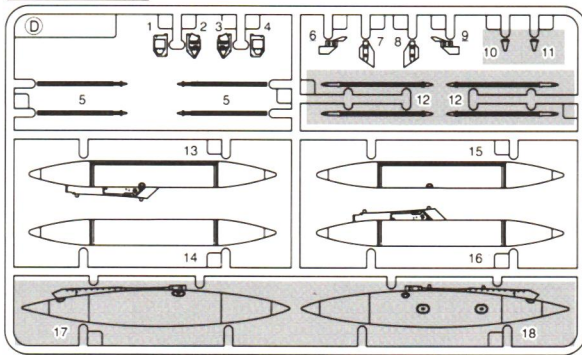
B ランナー Tree



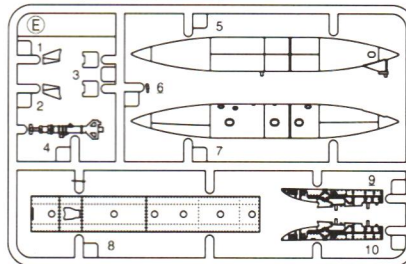
C パーツ Part



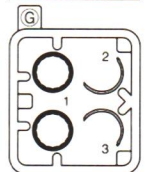
D ランナー Tree



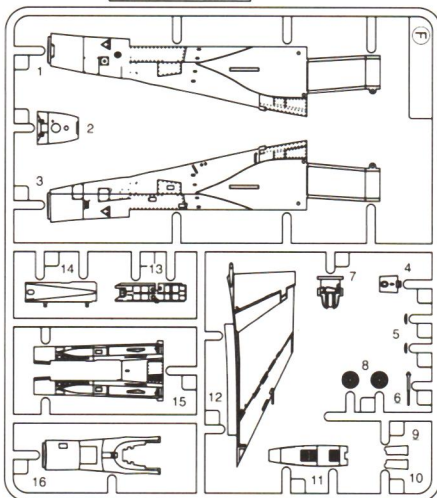
E ランナー Tree



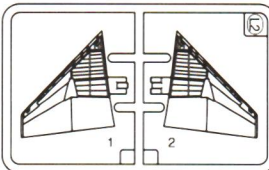
G ランナー Tree



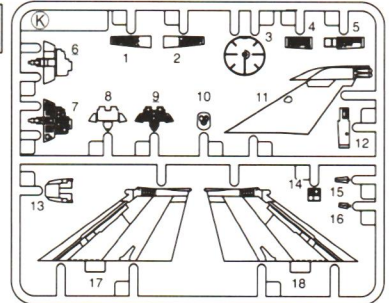
F ランナー Tree



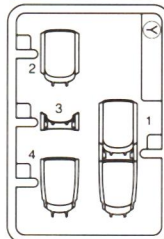
L2 ランナー Tree



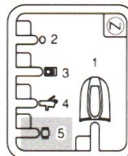
K ランナー Tree



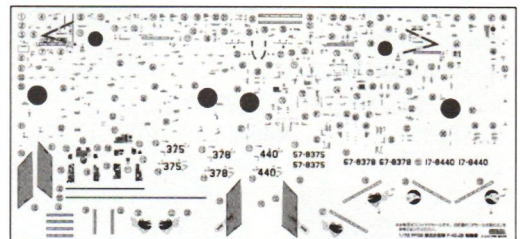
Y ランナー Tree



Z ランナー Tree



デカール Decal



※製造には万全の注意を払っておりますが、万一製造上の不良部品が内包した際はご購入日とご購入店様名をお書き添えの上、不良箇所を撮影した画像を電子メールで、または不良部品のみを郵送にて当社へお送りください(製品全てをお送り頂く必要はございません)。代替部品と送料分の切手をお送りします。〒441-3301 愛知県豊橋市老津町市場53-2 (有)ファインモールド

作る前にお読みください

- この製品は組み立てモデルです。あらかじめ本説明書の全工程に目を通し、組立工程ごとにイラストを見ながら部品の取り付け位置を事前に確認して組み立て作業を進めてください。
- 本製品には接着剤と塗料は付属していません。プラスチックモデル専用の接着剤と塗料を別途お買い求めください。
- カッターナイフや模型用ニッパー、ピンセット、ピンバイス(ドリル刃 0.6mm、1.0mm。)をご用意ください。
- 各部の塗装はGSIクレオス・Mr.カラーの番号を□内の数字で、続けて色名を表示しています。水性ホビーカラーやアクリジョン、タミヤカラーやガイアノーツカラーを使用する場合は、「カラーナンバー対応表」を参照ください。

This is an unassembled model kit. Read carefully and fully understand the instructions before commencing assembly. Check the position of the installation before installing parts following the illustration. Cement and paints are not included in the kit. Side cutters, modeling knife, and pin vise with 0.6mm and 1.0mm bits, and tweezers are also required for assembly. Please carefully use tweezers for the installation of small parts. The boxed numbers in each illustration refer to the number of "Mr.COLOR" from GSI Creos. Please also check the color reference.

注意 ちゅうい

本製品は玩具ではありません。対象年齢15歳以上の組み立てモデルです。作る前にこの組立説明書をよくお読みください。

- 1 部品を取り出した後のビニール袋は放置しないでください。子供が頭から被ったり飲み込むと窒息の恐れがあります。
- 2 部品はきれいに切り取り、切り取った後の不要部分や切り取りクズは部品の入っていたビニール袋と共に「プラスチックごみ」として、お住まいの地域のルールに従って処分してください。
- 3 尖っている部品があります。お子様の手の届く所に放置しないでください。他の用途には絶対に使わないでください。
- 4 特に小さいお子様のいる家庭では部品や部品切り取り後の不要部、ビニール袋等を誤って飲み込まない様に注意してください。小さなお子さまが剣に刺さる、もしくは出入りする環境での作業や放置はおやめください。
- 5 組み立ての際、ニッパー・ナイフ等を不用意に取り扱うと刃先で怪我をする恐れがあります。注意してください。
- 6 接着剤、塗料を使用する場合は下記に注意してください。
 - 中毒の恐れがあるので閉めきった室内では使用しない。
 - 引火の恐れがあるので火の近くで使用しない。
 - 接着剤・塗料は目や口に入れない。誤って入れたときはすぐに大量の水で洗い流し医師に相談すること。
- 7 工具 接着剤 塗料等を使用する前には、それぞれの説明書に記載の注意事項をよく読み、正しく使用してください。

CAUTION MAKE SURE TO READ THE INSTRUCTIONS BEFORE ASSEMBLING.

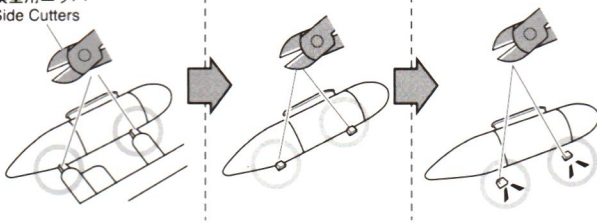
THIS IS NOT A TOY! This model kit is suitable for age 10 to adult. When assembled by children aged 14 or younger, it is recommended that an adult, who has read the instructions, supervise the process.

1. This is an unassembled kit. Read the instructions before assembling.
2. Tear up and discard the plastic bags containing kit parts as children may accidentally hurt themselves by swallowing or suffocate by putting the bags over their head.
3. After preparing the parts by cutting, please dispose of the waste properly.
4. Don't play with the parts because some parts have sharp points. Exercise caution and care when assembled with infants in nearby vicinity.
5. Keep all parts out of reach of small children. Children must not be allowed to put any parts in their mouth, or pull plastic bags over their head (risk of suffocation).
6. Assembly involves the use of tools including knives. Extra care should be taken to avoid personal injury.
7. Take the following precautions when using adhesives and / or paints: Don't use in a closed room to avoid poisoning / intoxication. Don't use near fire (risk of flammability). Avoid contact with either your eyes or mouth. In case of accidental contact, rinse with large amounts of water and consult a doctor.
8. Read and follow the instructions supplied for the tools, the cement and the paints when used for assembly.

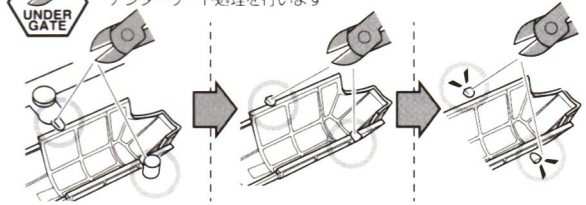
■パーツの切り取り方 To remove parts from tree

※ランナー(枠)から各パーツを切り離した際に突起が残った時は、カッターや模型用ヤスリ等で取り除いてください。

模型用ニッパー
Side Cutters



●部番に左記アイコンが併記された部品はアンダーゲート処理を行います

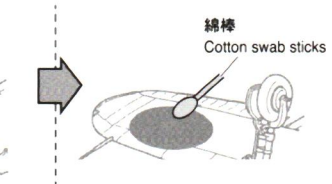
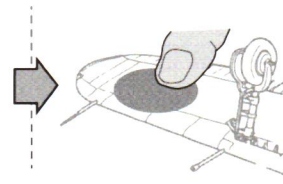
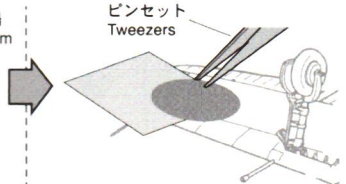
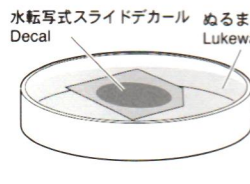


■水転写式スライドデカールの貼り方 Decal Application



1. 1回に必要なマークのみを台紙と共にハサミで切り抜きます。
2. 切り出したマークを10秒から20秒程度ぬるま湯に浸してから引き上げます。
3. 貼りたい位置にマークを台紙ごと移動し、マークをすらすらとモデルに移します。
4. 濡らした指などですらすらしながら正しい位置に動かします。
5. 位置が決まったら、柔らかい布や綿棒などで気泡と水分を押し出すようにマークを固定します。(力を入れすぎるとマーク全体が移動するので注意)
6. 曲面や凹凸部にマークを密着させる際は、GSIクレオス製Mr.マークソフターを使用し、綿棒などで慎重に作業します。貼ったマークは乾いて固着するまで触れないでください。(マークソフター本体の取扱説明も参照ください)

1. Cut off each decal mark from the sheet.
2. Dip the mark into lukewarm water for about 15 seconds.
3. Place the mark in position, and slide it off the base paper and onto the model.
4. Move decal into position by wetting the decal with finger.
5. To push out excess water and air bubbles under mark, Press the decal gently with a soft cloth or cotton swab sticks.
6. Use a hot steaming towel or decal softener to mold decal over sculpted or nonflat surface.
7. Do not touch the decal until it has become dry and firmly attached to model.



ディテールアップ パーツ(別売り)

※価格は販売店様へお問い合わせください

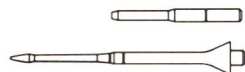
DETAIL-UP PARTS
NOT INCLUDED,
SOLD SEPARATELY



別売りのディテールアップパーツを取り付ける場合は、組立図中に左記マークのある段階でおこないます。取り扱い方法の詳細はディテールアップパーツ製品に封入された組立説明書を参照してください。

Installs Detail-Up Parts at the step indicated the left mark if you would like to do.

F-4ファントムII ビター管
(ロングノーズ)
(真ちゅう製換気物)
製品番号: AA52



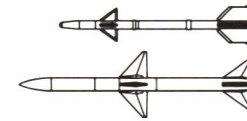
Detail-Up Parts (Not Included):
Alpha Probes Set
(Brass) ITEM No. AA52

現用機用シートベルト4
(プラスチックパーツ)
製品番号: NA10



Detail-Up Parts (Not Included):
Modern Aircraft Seatbelt Set #4
(Plastic parts) ITEM No. NA10

航空自衛隊ミサイルセット
(プラスチックパーツ)
製品番号: FP39

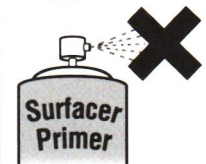


Detail-Up Parts (Not Included):
J.A.S.D.F. Missile Set (Plastic parts)
ITEM No. FP39

FP38 航空自衛隊 F-4EJ改 戦闘機 組立P3

■注意

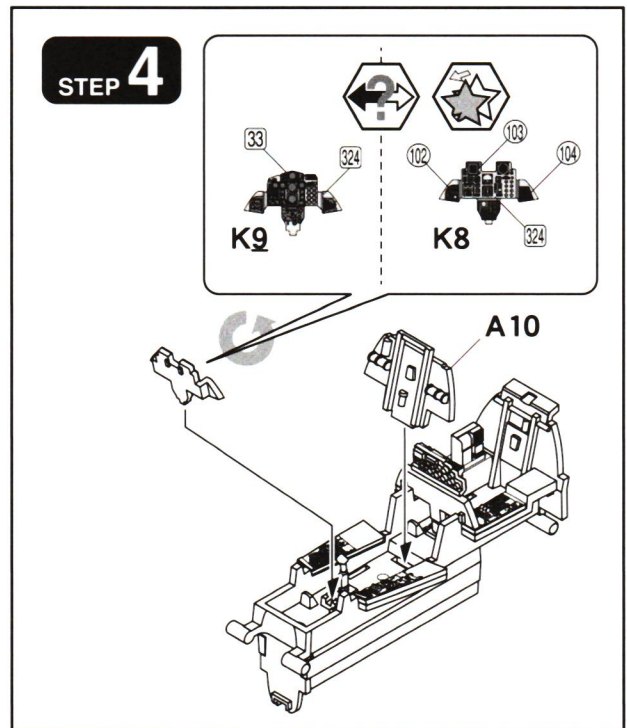
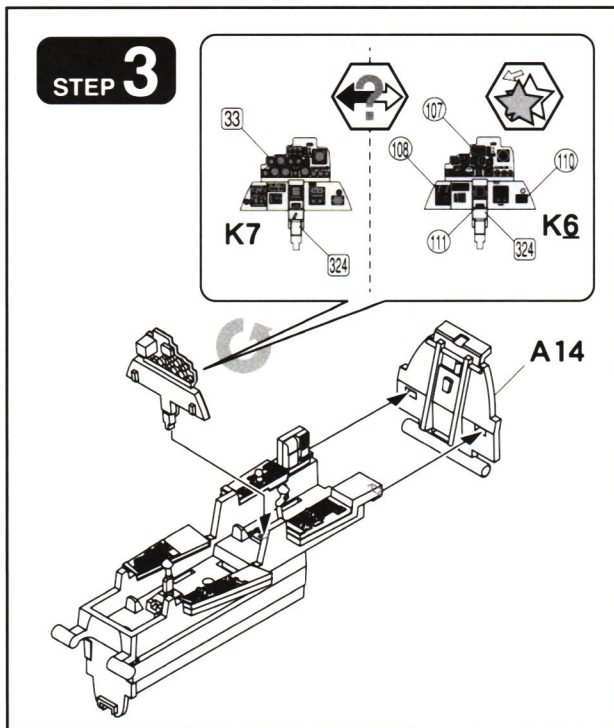
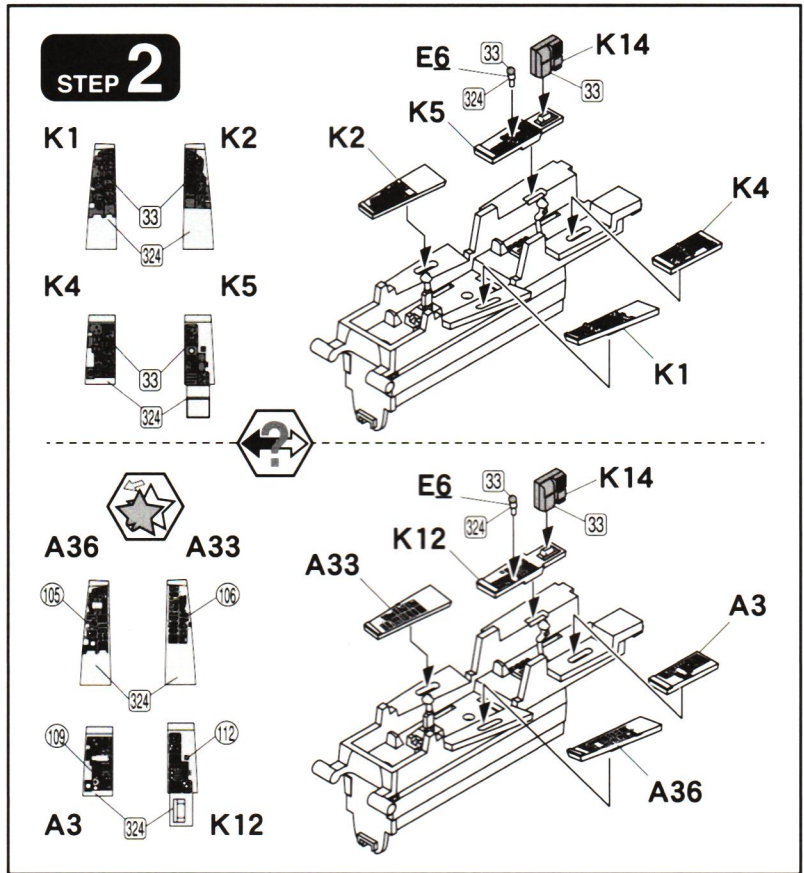
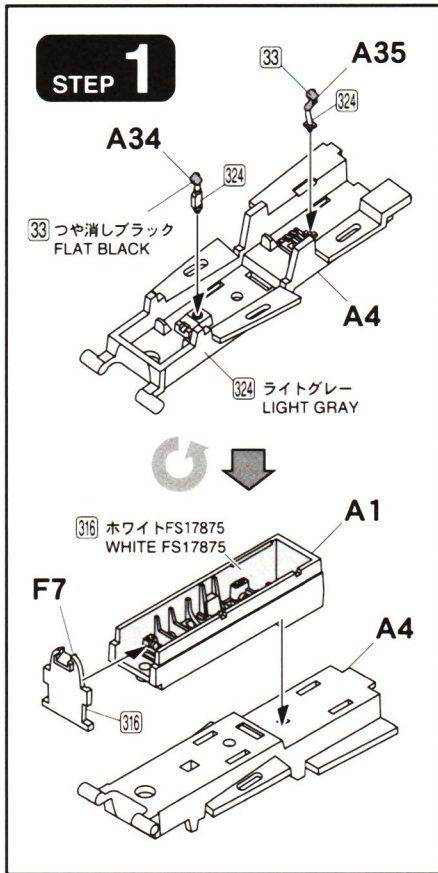
サーフェイサー/プライマーの使用はお控えください



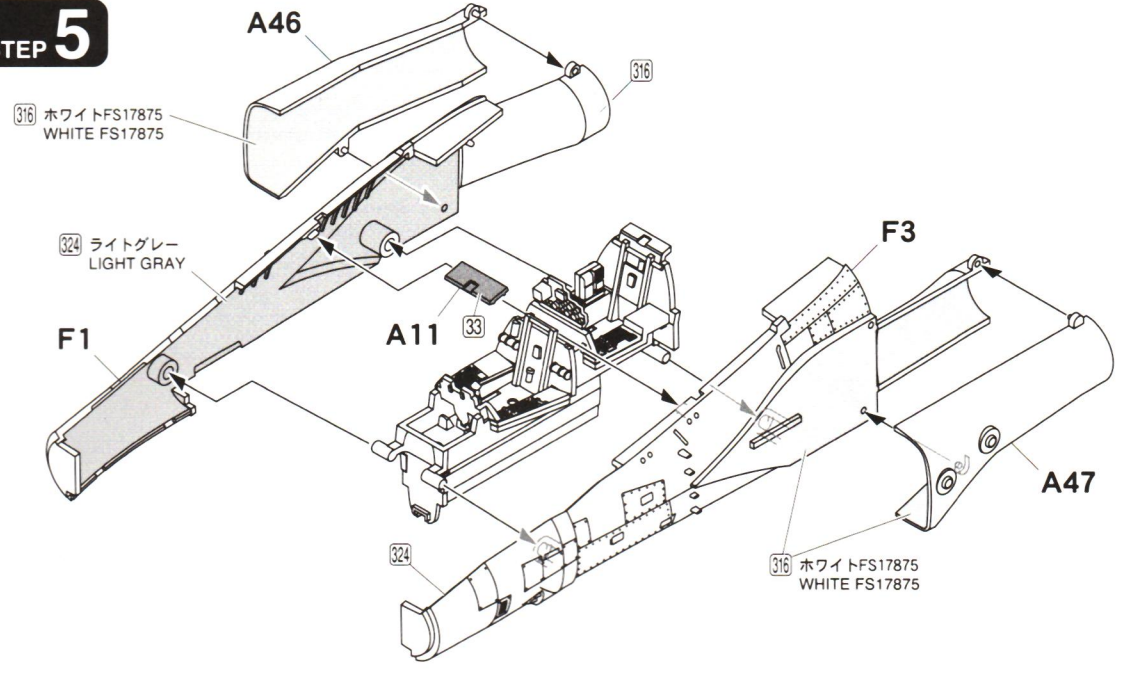
パネルライン、リベット等の繊細な彫刻がサーフェイサーにより埋もれる可能性があります。

- ↑ 接着します
Glue
Kleben
Coller
- ↓ はめ込みます
Fitting
Anprobe
Aller
- ✗ 接着しません
Don't glue
Nicht kleben
Ne pas coller
- ✂ 切り取ります
Remove
Entfernen
Enlever
- ⚙️ どちらか選びます
Optional
Wahlweise
Facultatif
- ⚪ 0.0 mm
穴を開けます
Make a hole
Loch bohren
Faire un trou
- 🔧 アンダーゲートを処理します
Remove under gate
Entfernen unter den Toren
Enlever sous les portes
- 🔪 瞬間接着剤を使用します
Use Cyanoacrylate (Superglue)
Sekundenkleber
Colle rapide
- ⚠️ 注意します
Attention
Aufmerksamkeit
Faire attention
- ★ 〇数字で指示した水転写デカールを貼ります
Number of decal to soak and apply
Abziehbild in Wasser einweichen und anbringen
Mouiller et appliquer les décalcomanies

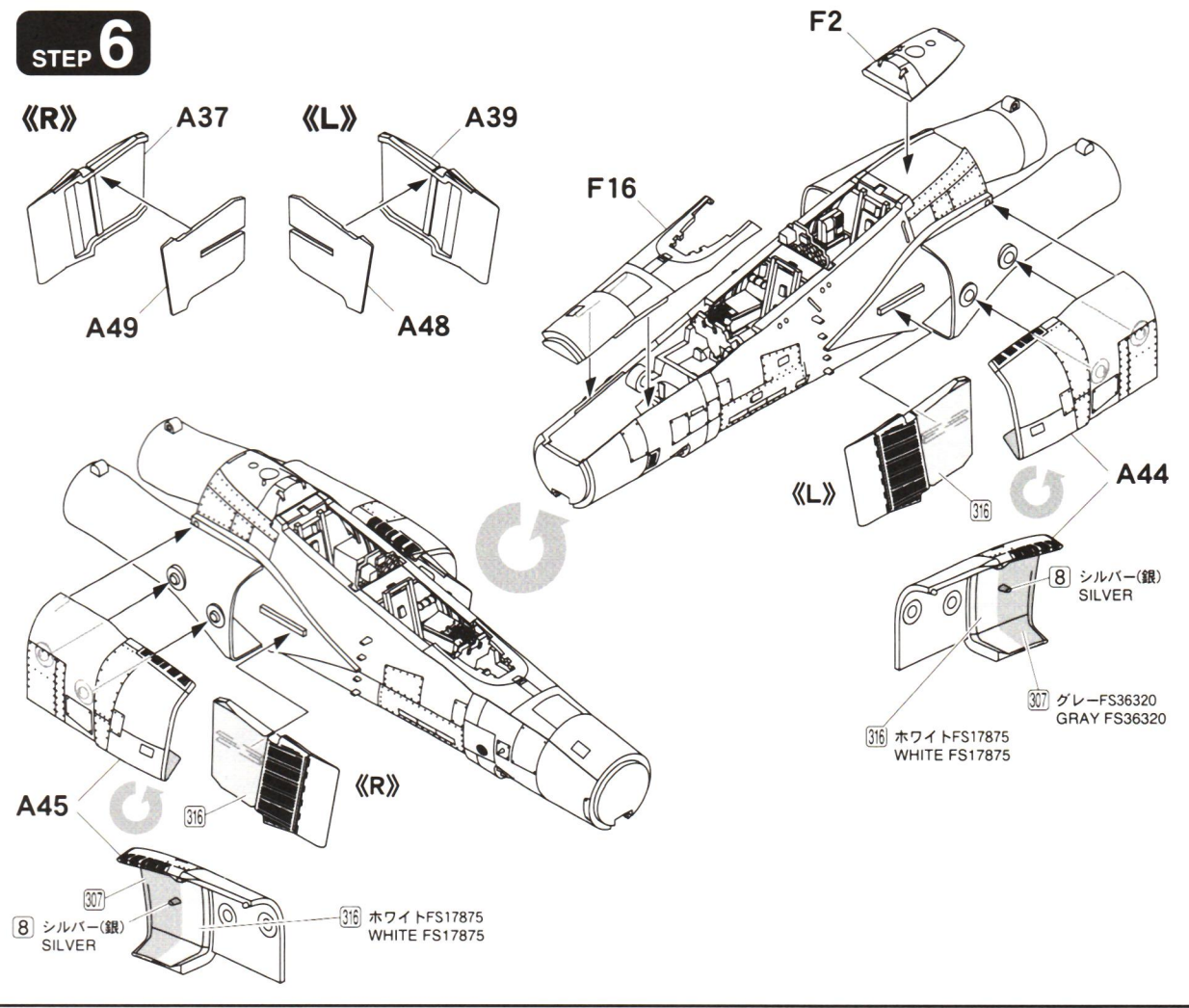
組立図中で塗装指示の無いものは「塗装とマーキング」ページで説明する機体色で塗装します。 Paint all parts body color except other color is specified.

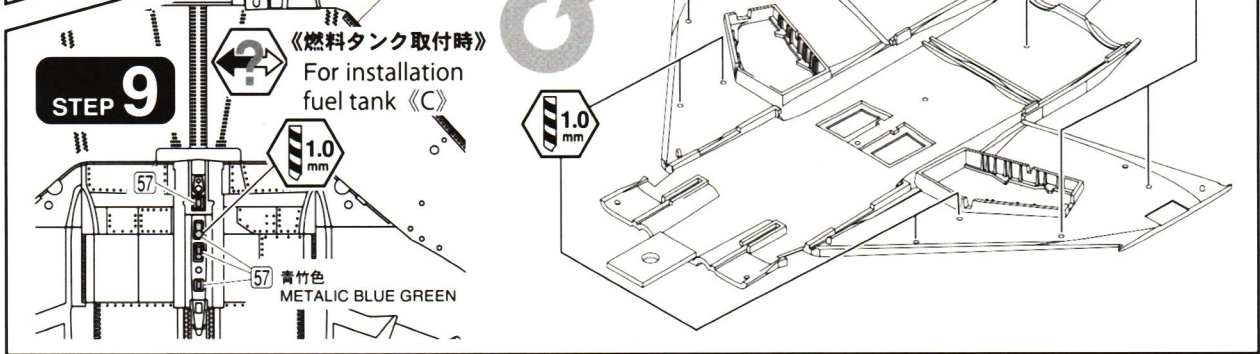
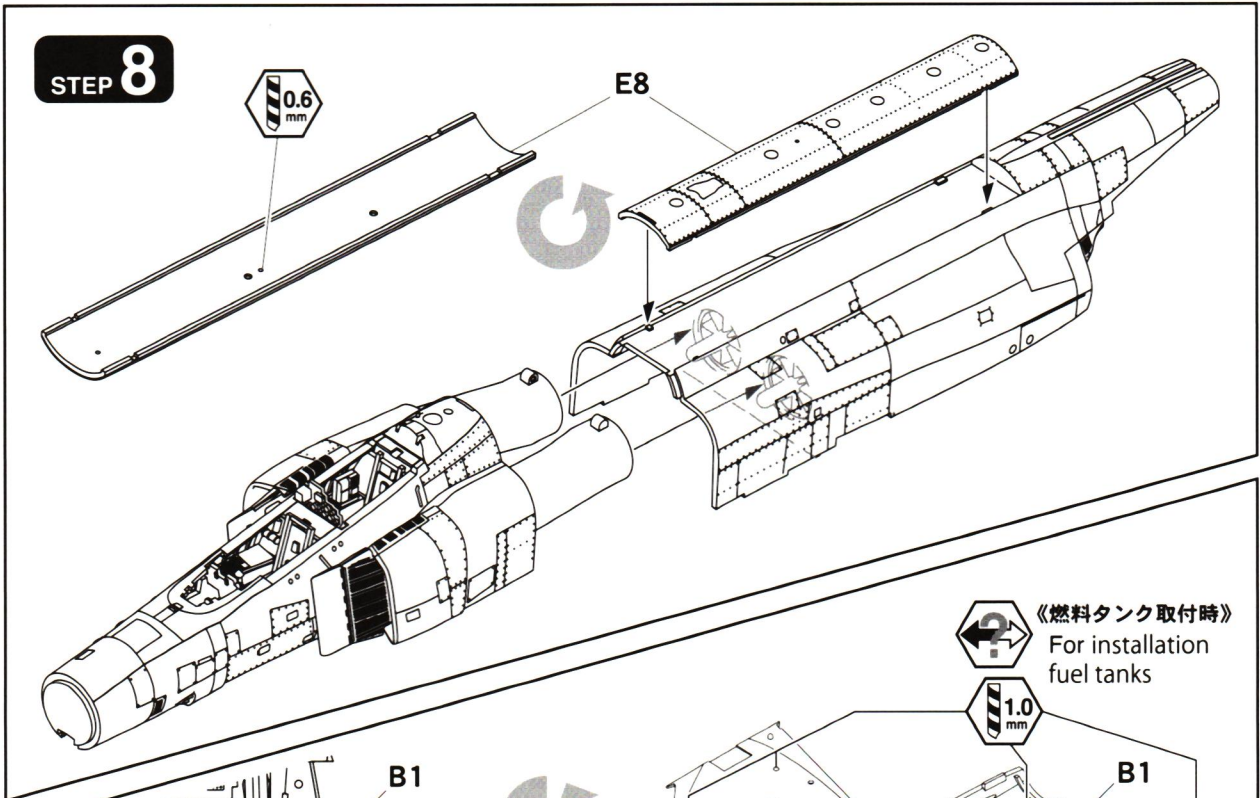
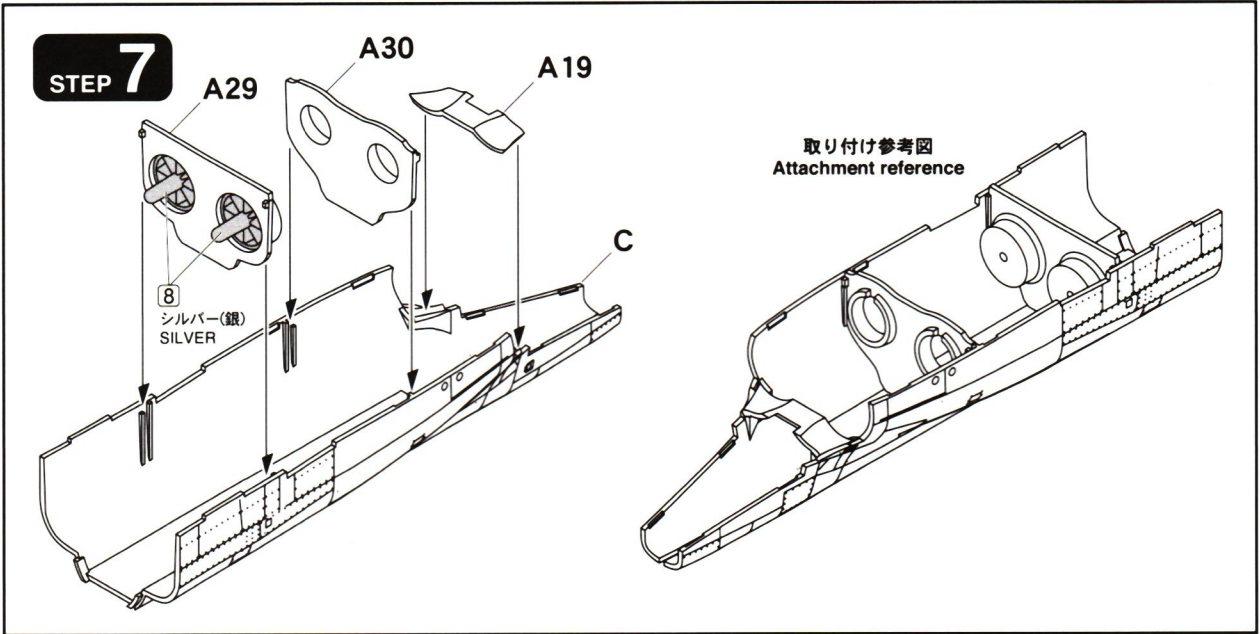


STEP 5

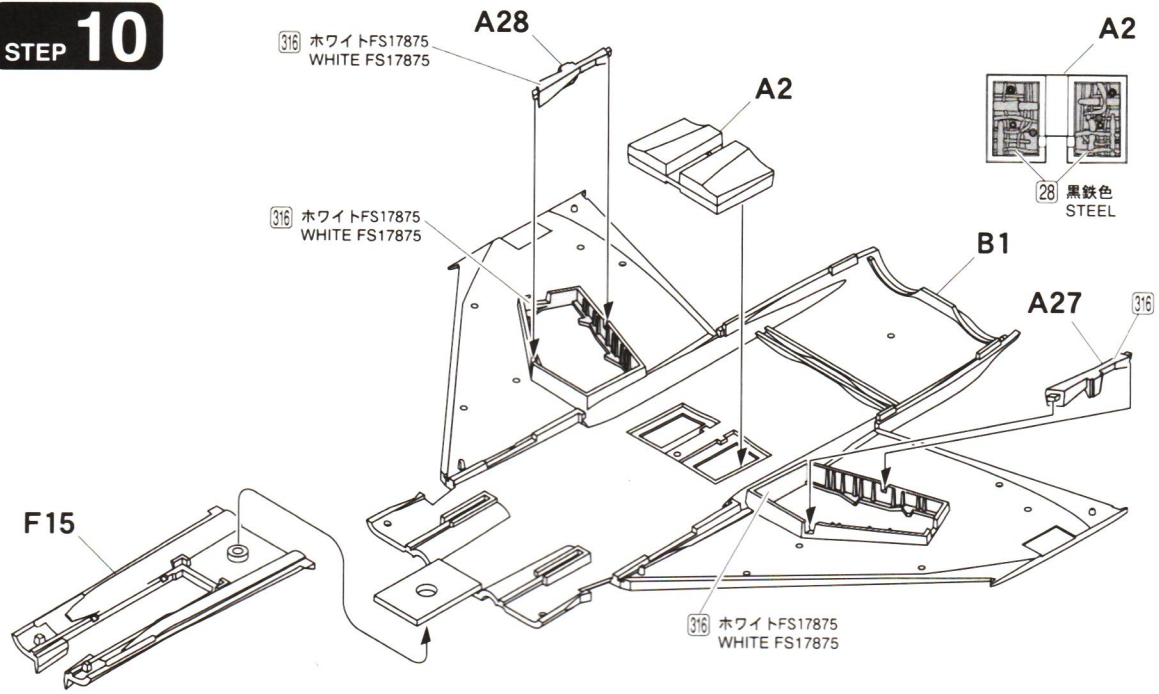


STEP 6

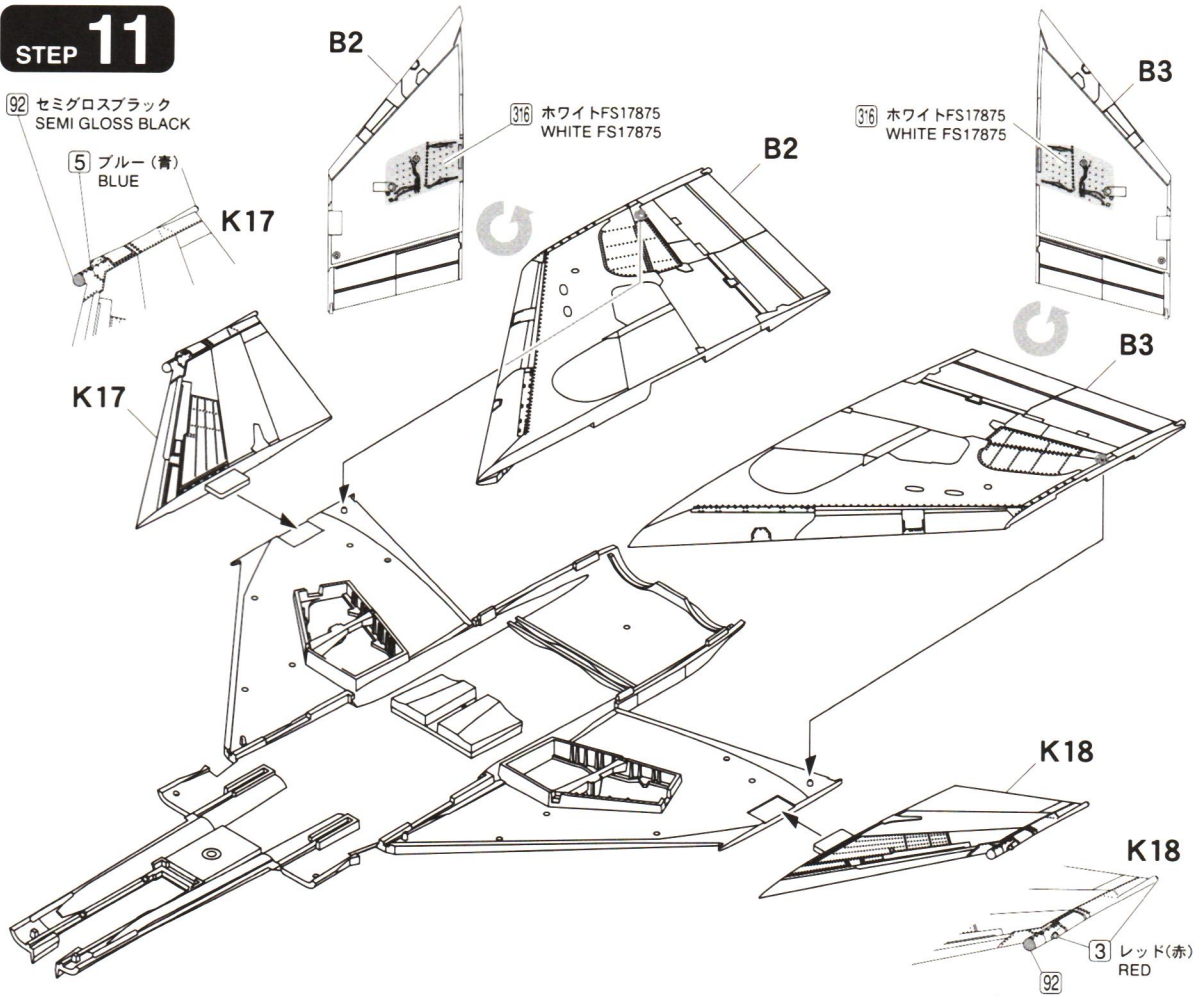




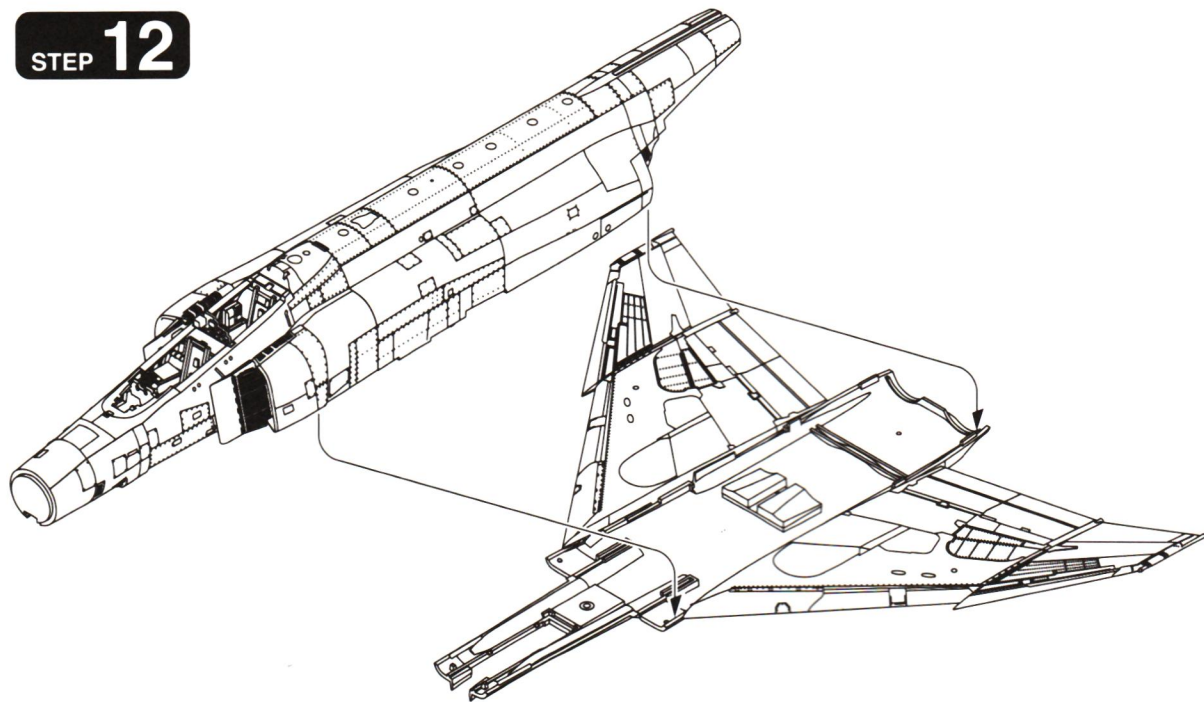
STEP 10



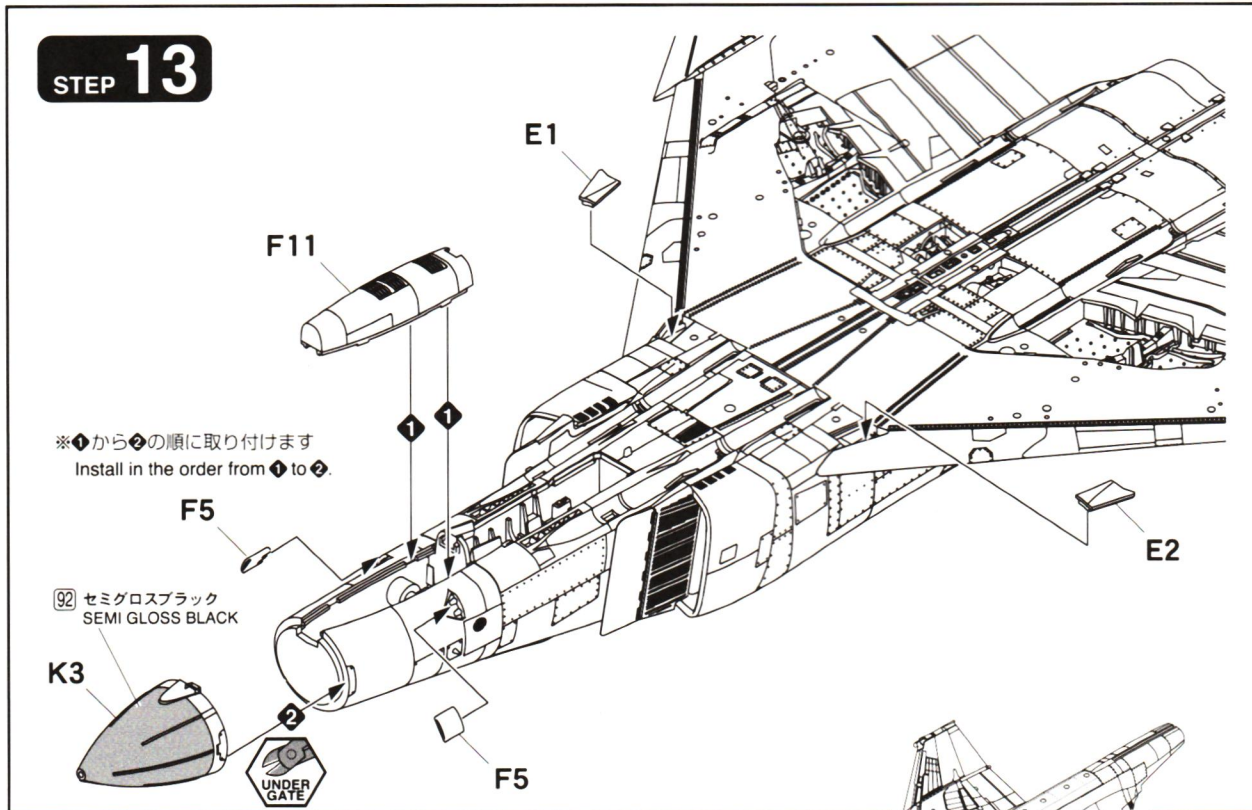
STEP 11



STEP 12



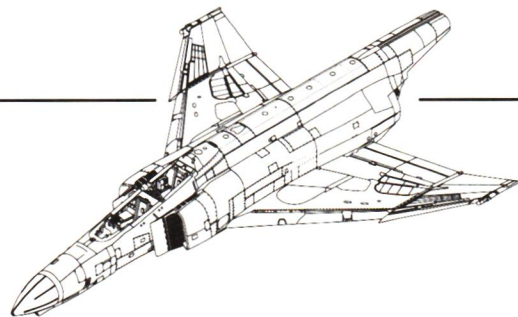
STEP 13



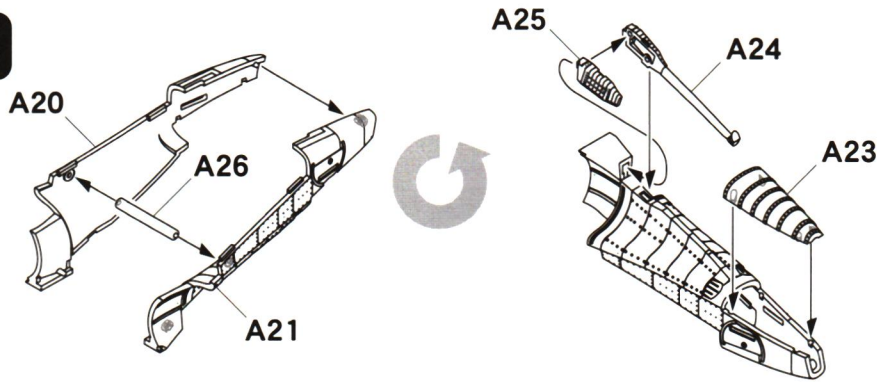
●塗装ガイド Painting

ここまで組み立てた段階で、巻末の「塗装とマーキング」を参考に機体全体を塗装をします。スプレー・エアブラシ等の吹き付け塗装の際は、塗装済み箇所をマスキングしてください。

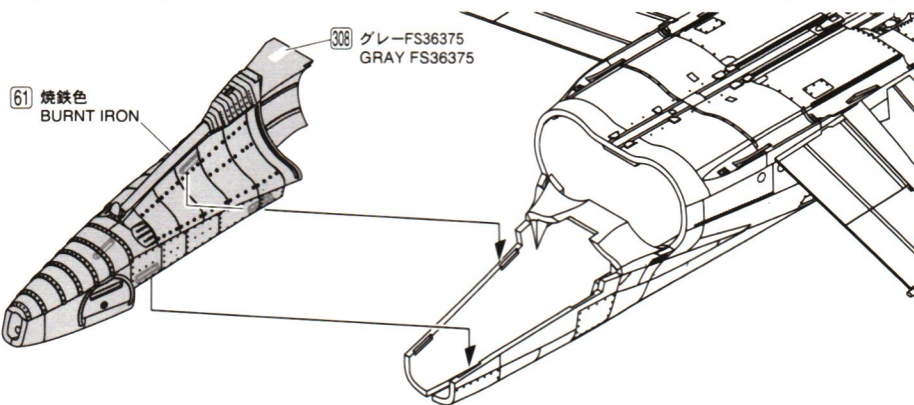
At this point, you should paint the entire aircraft using the "Painting and marking" shown at the end of this instruction. If you are employing spray paints or airbrushes, then mask portions that have already been painted previously.



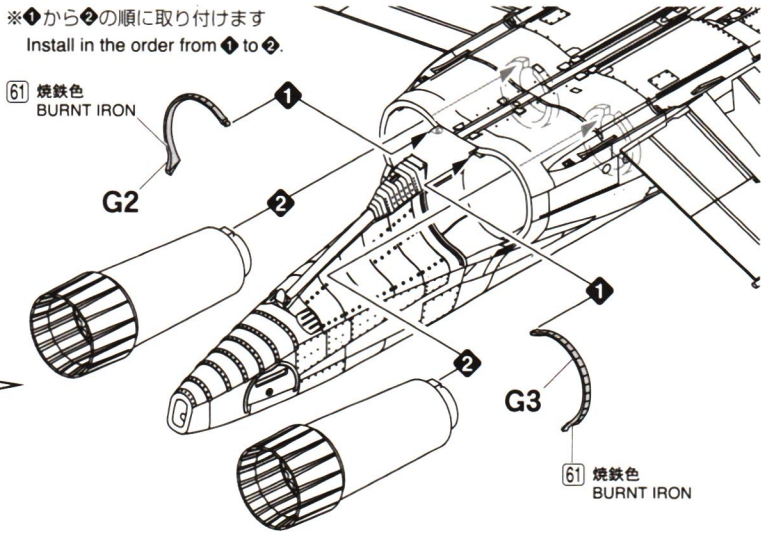
STEP 14



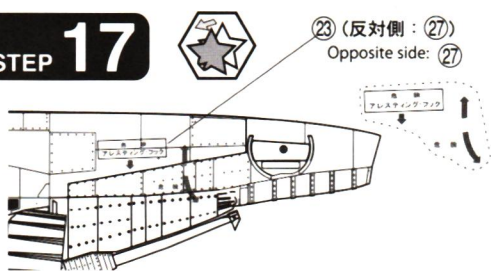
STEP 15



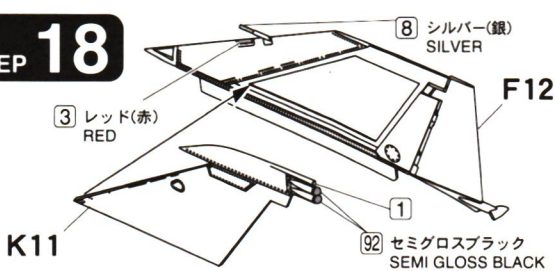
STEP 16



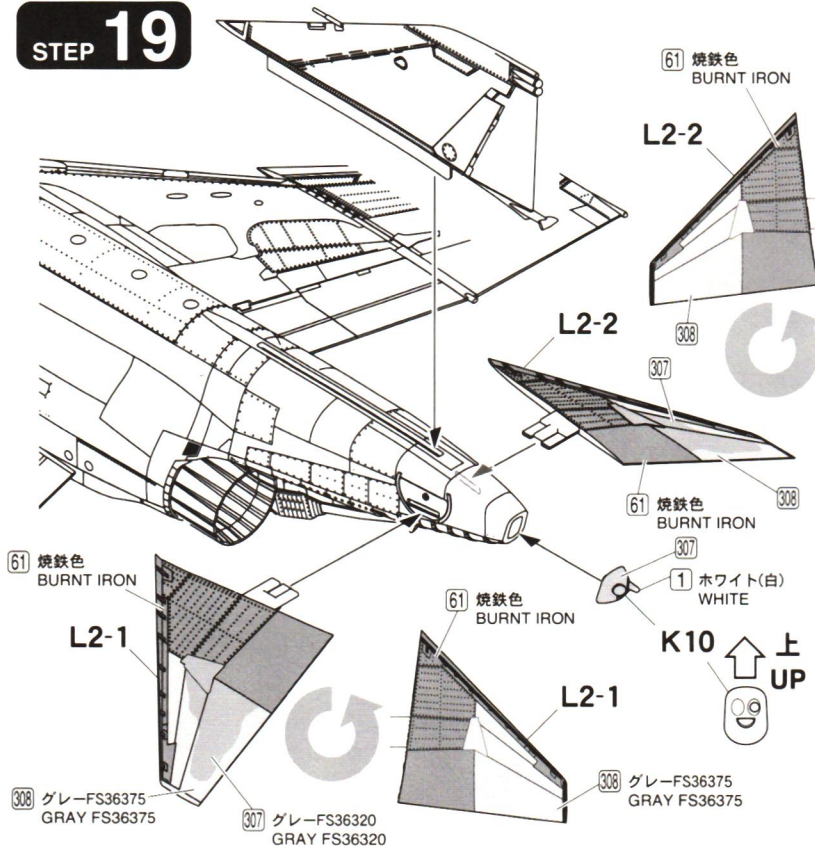
STEP 17



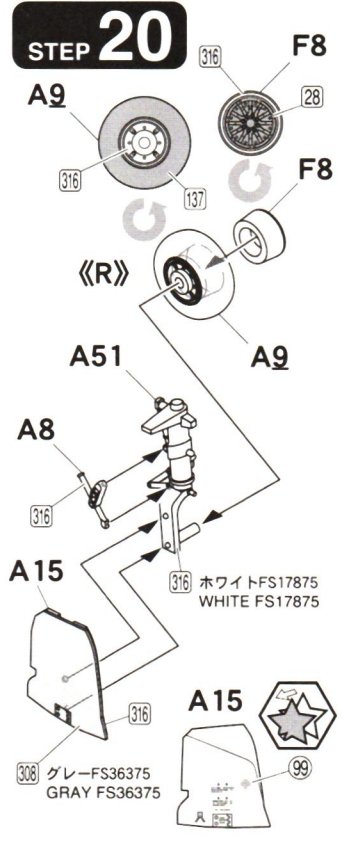
STEP 18



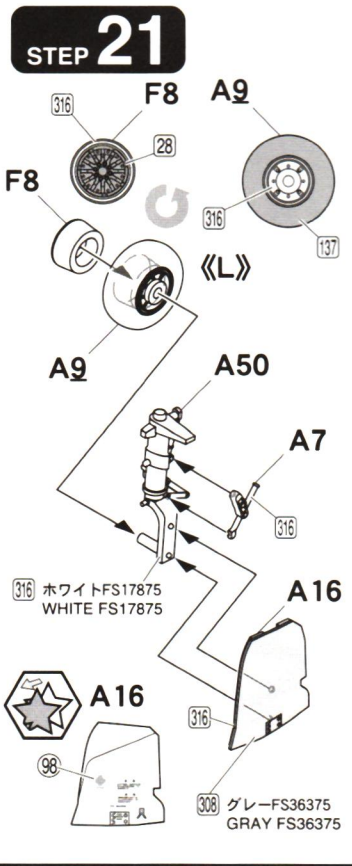
STEP 19



STEP 20

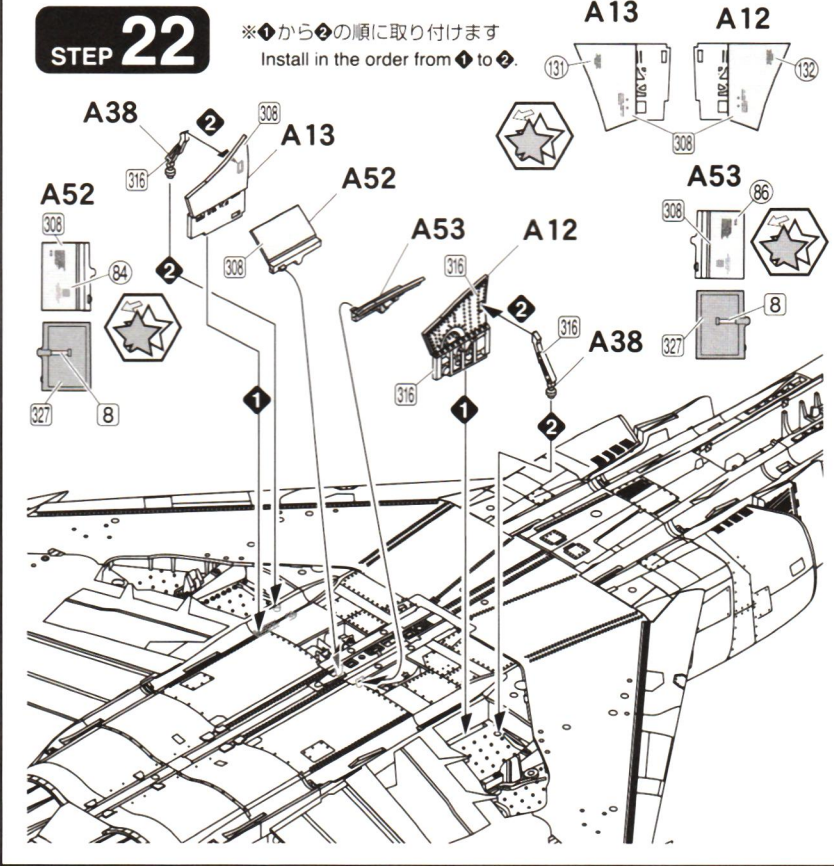


STEP 21



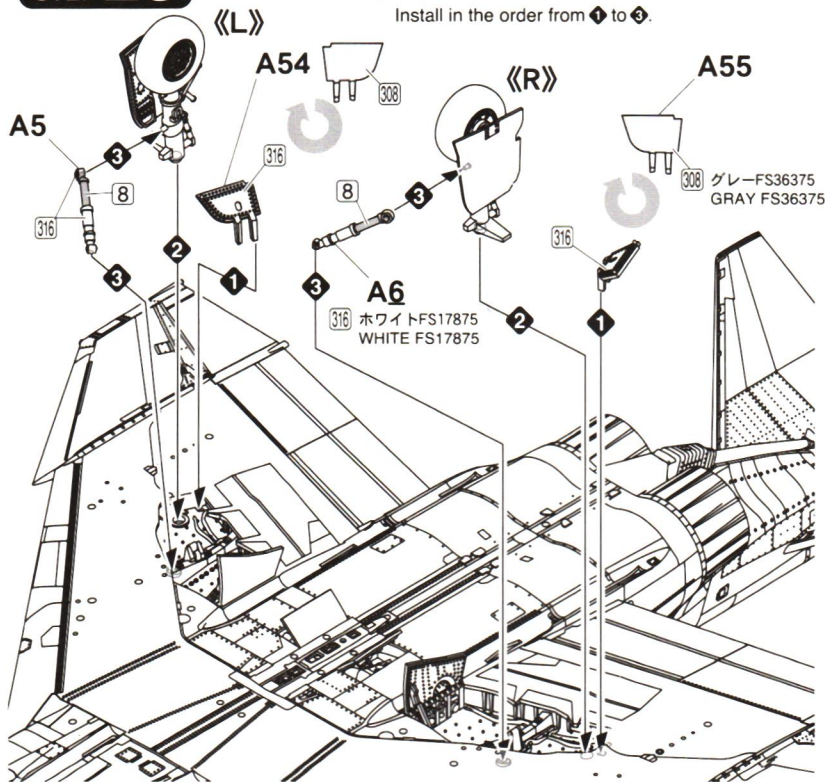
STEP 22

※❖から❖の順に取り付けます
Install in the order from ❖ to ❖.

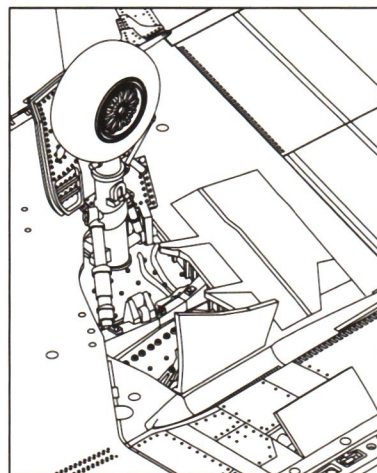


STEP 23

※①から④の順に取り付けます
Install in the order from ① to ④.



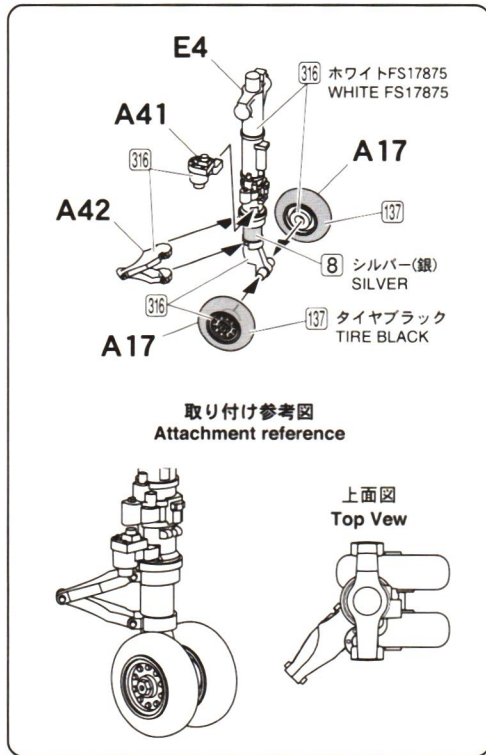
取り付け参考図
Attachment reference



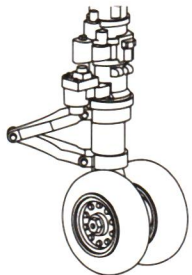
前
Forward



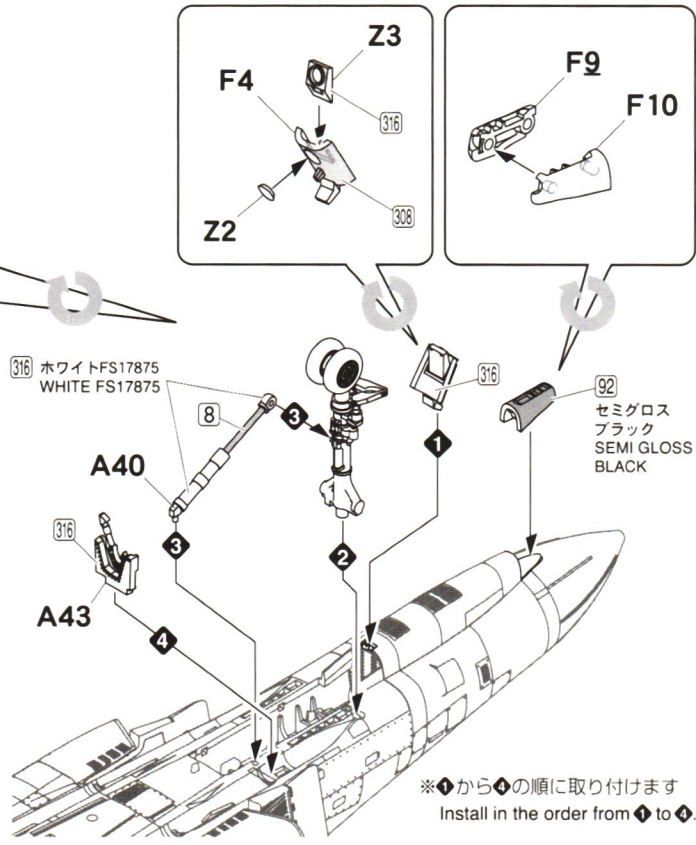
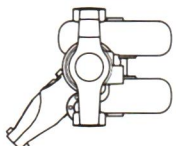
STEP 24



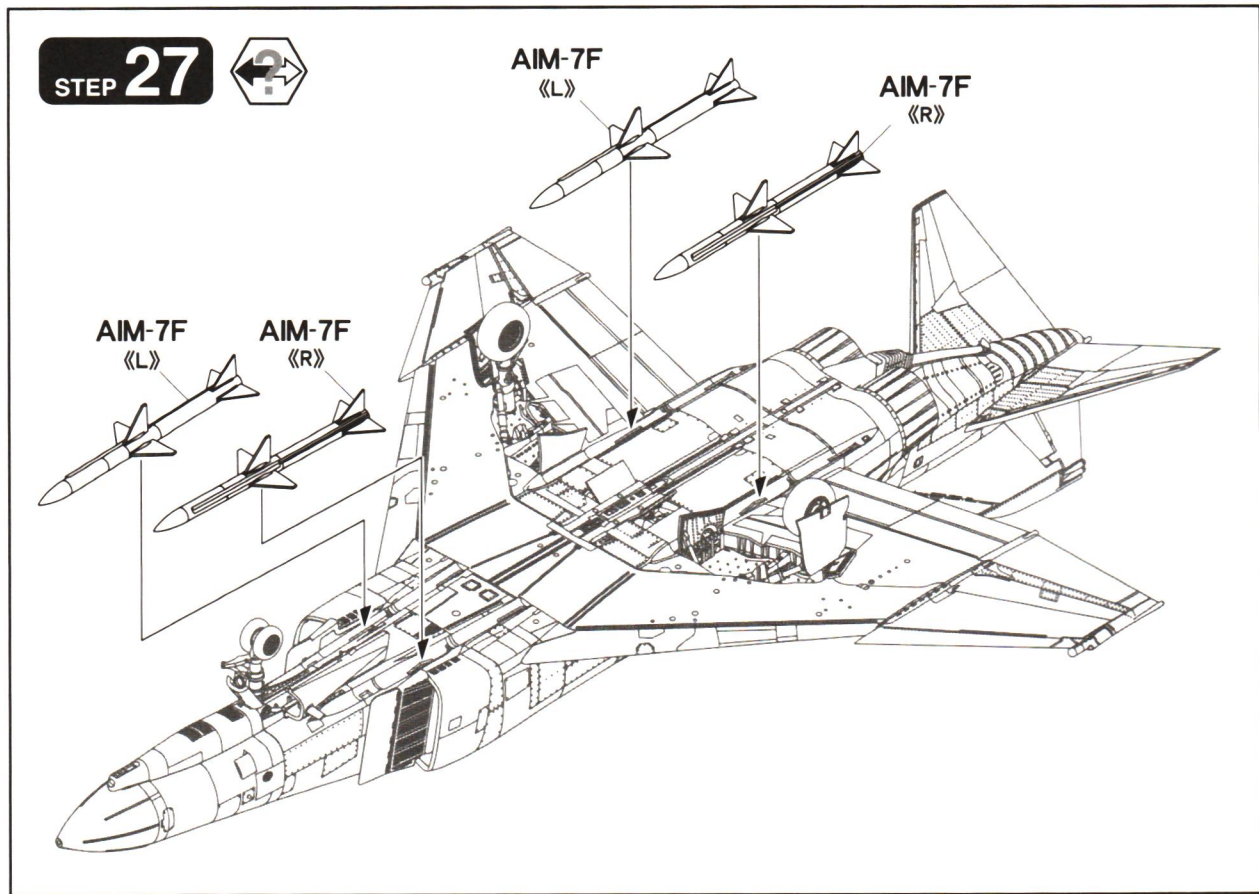
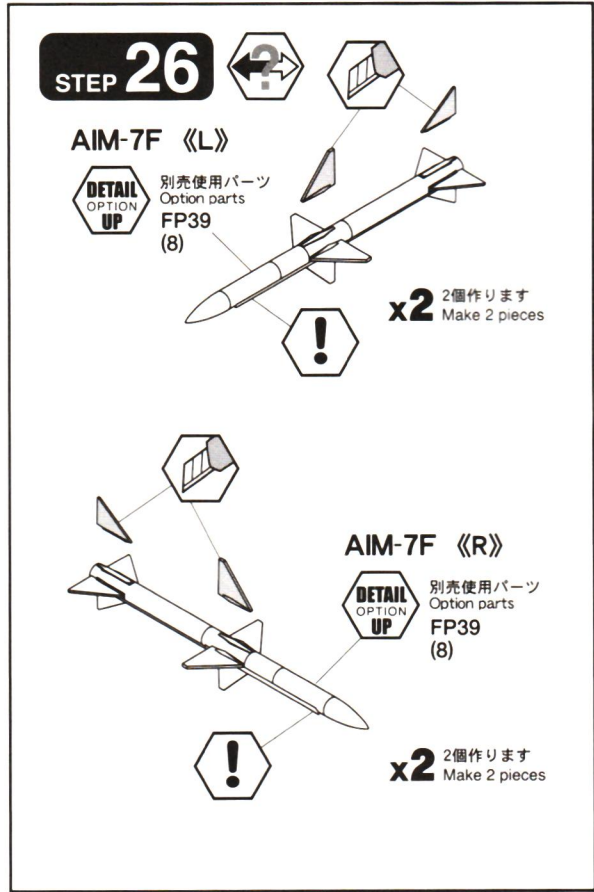
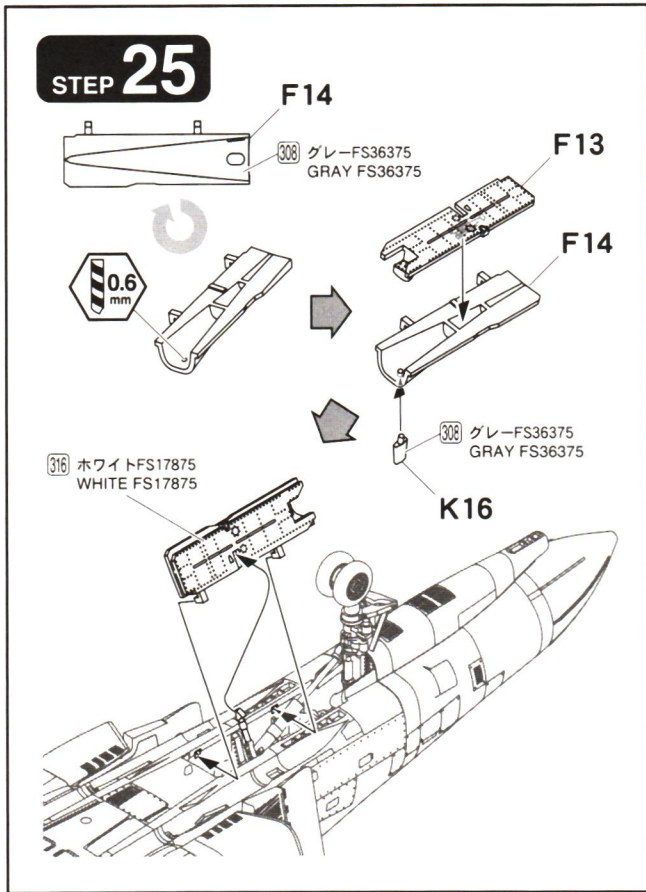
取り付け参考図
Attachment reference



上面図
Top View

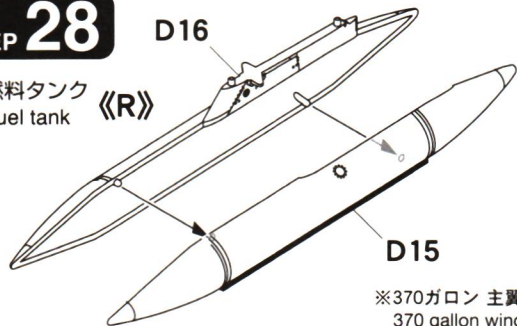


※①から④の順に取り付けます
Install in the order from ① to ④.

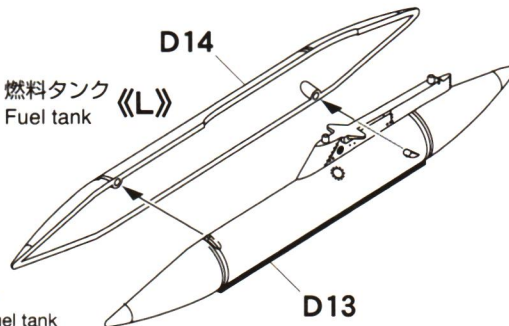


STEP 28

燃料タンク 《R》
Fuel tank 《R》

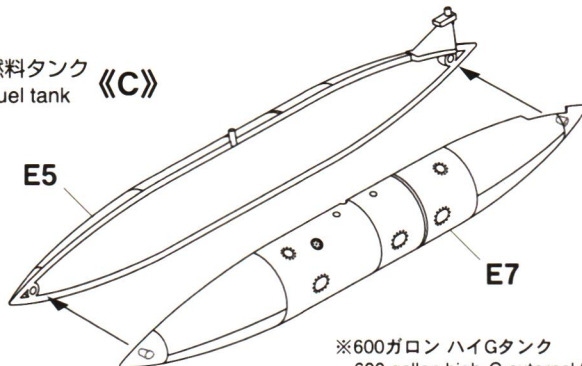


燃料タンク 《L》
Fuel tank 《L》



※370ガロン 主翼下面タンク
370 gallon wing external fuel tank

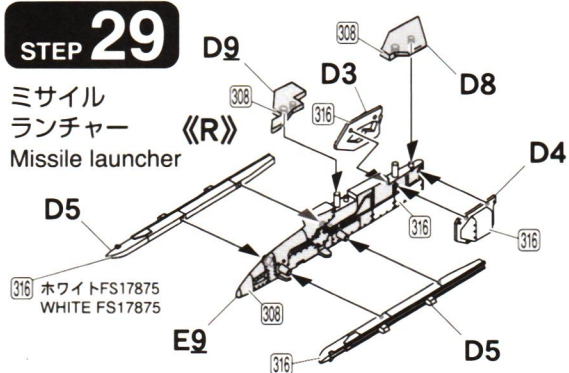
燃料タンク 《C》
Fuel tank 《C》



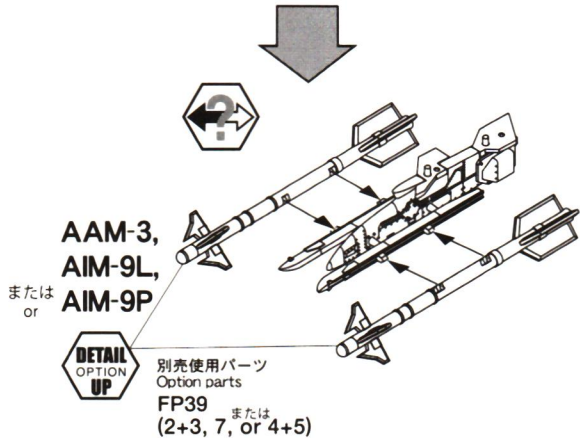
※600ガロン ハイGタンク
600 gallon high-G external fuel tank

STEP 29

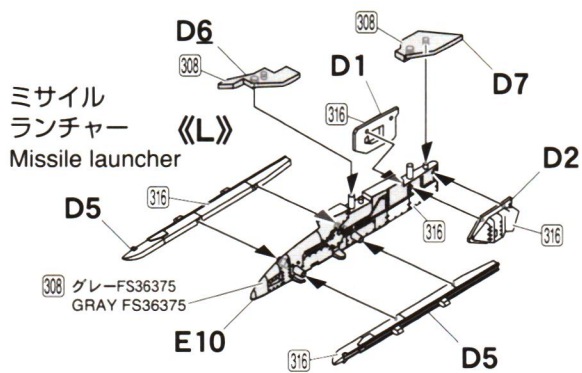
ミサイル
ランチャー 《R》
Missile launcher 《R》



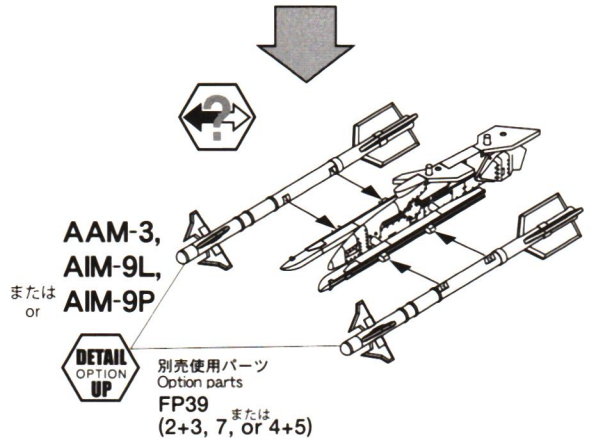
取り付け参考図
Attachment reference



ミサイル
ランチャー 《L》
Missile launcher 《L》



取り付け参考図
Attachment reference



STEP 30



ミサイルランチャー 《L》
Missile launcher

燃料タンク 《L》
Fuel tank

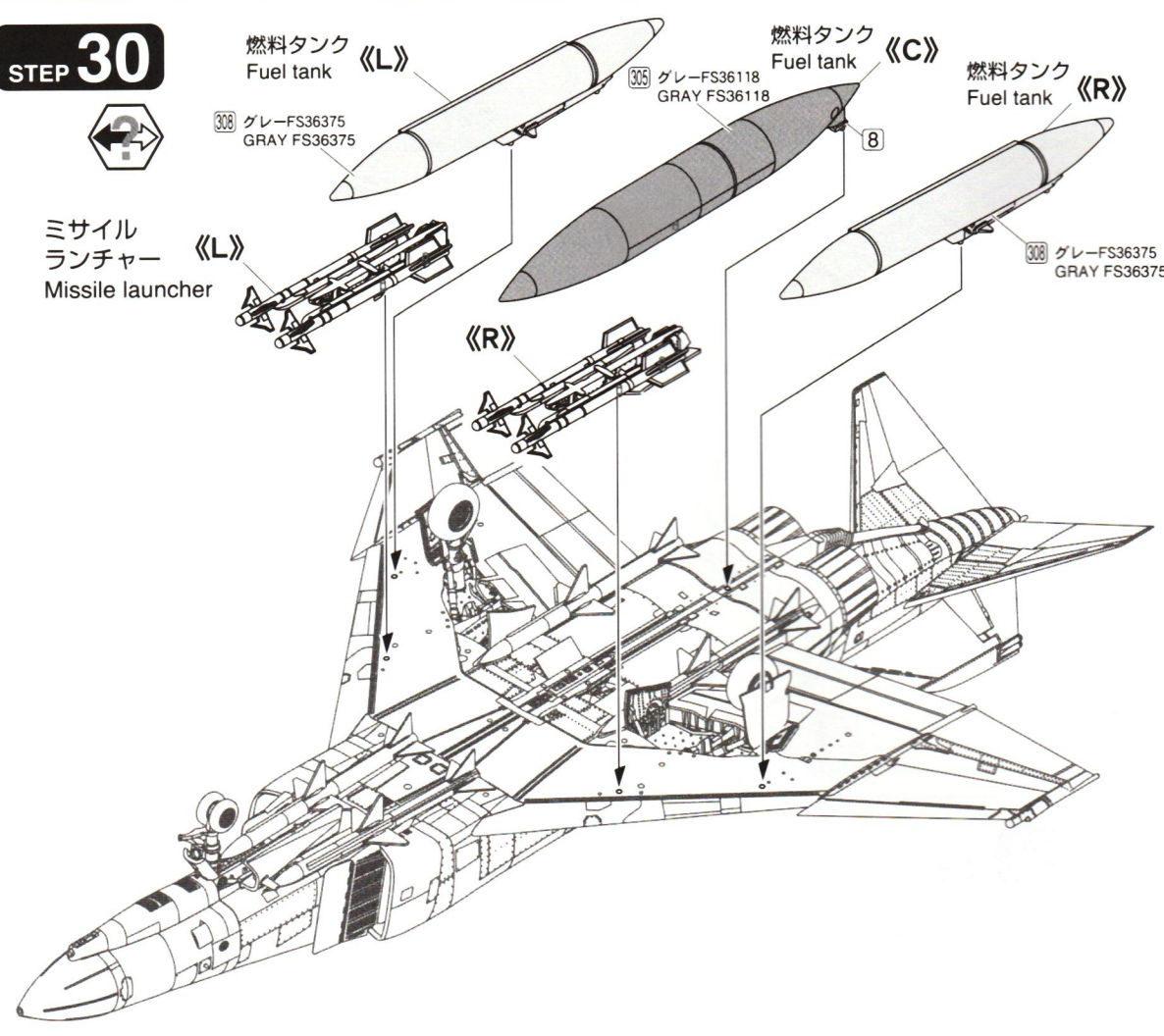
308 グレー-FS36375
GRAY FS36375

燃料タンク 《C》
Fuel tank

305 グレー-FS36118
GRAY FS36118

燃料タンク 《R》
Fuel tank

308 グレー-FS36375
GRAY FS36375



STEP 31

x2 2個作ります
Make 2 pieces

327 レッドFS11136
RED FS11136

324 ライトグレイ
LIGHT GRAY

33 つや消しブラック
FLAT BLACK

329 イエローFS13538
YELLOW FS13538

A56

A31

A32

A57

324

12

55

329

E3

33 つや消しブラック
FLAT BLACK

55 カーキ
KHAKI

A56

DETAIL OPTION UP 別売使用パーツ
Option parts
NA10

STEP 32

※①から④の順に取り付けます
Install in the order from ① to ④.

33 つや消しブラック
FLAT BLACK

K13

Z4

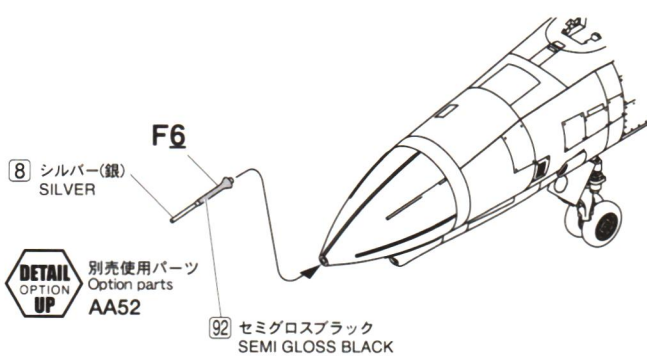
①

②

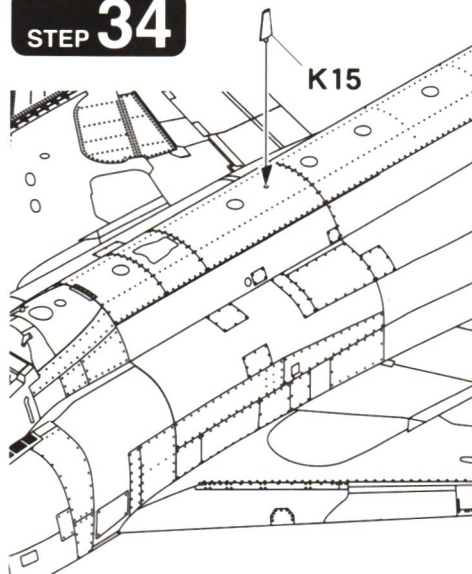
③

④

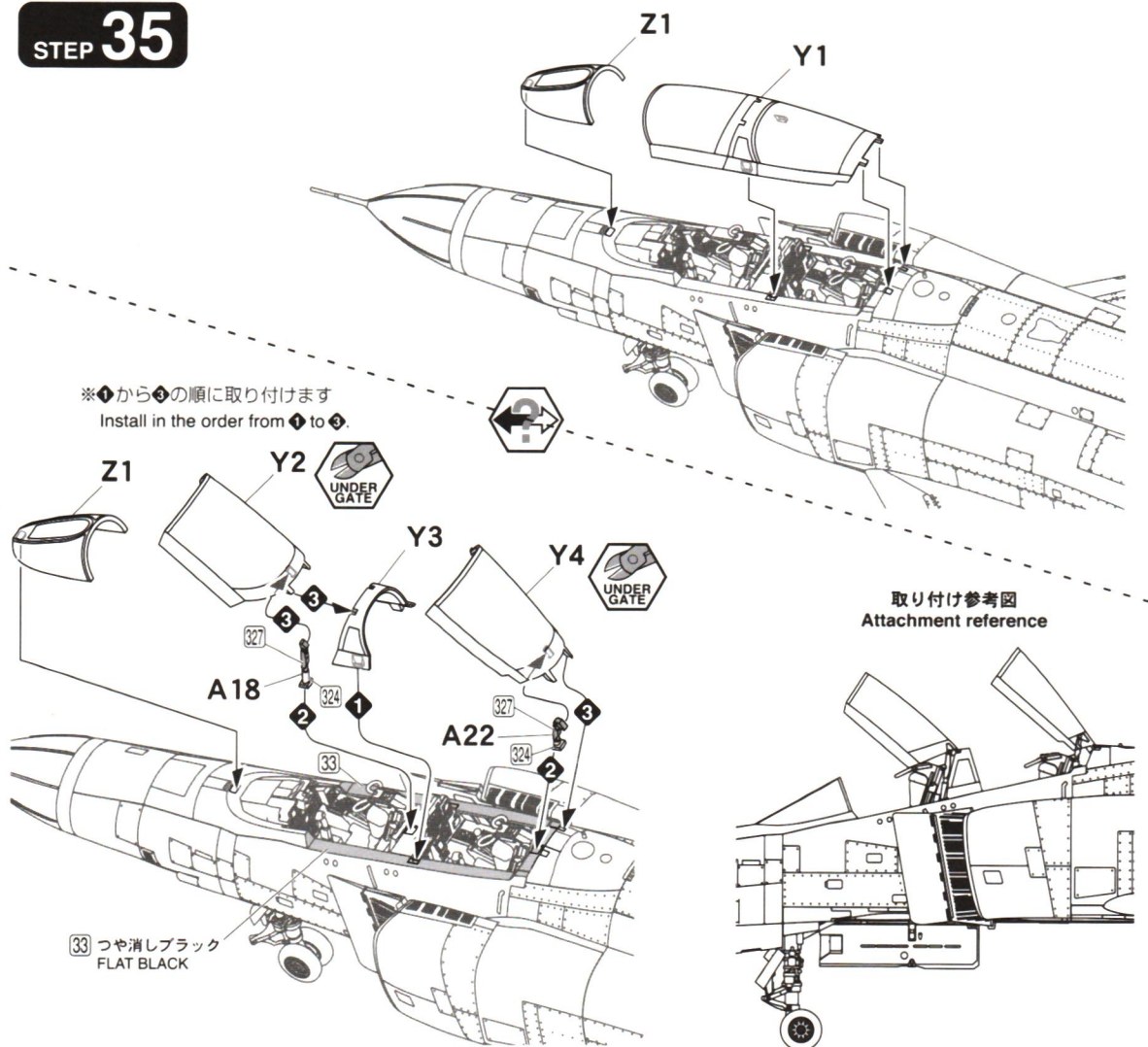
STEP 33



STEP 34



STEP 35





カラーナンバー対応表		※近似色での表示です Color Reference				
GSICレオス・Mカラー(□数字)	GSICレオス・水性カラー	GSICレオス・アクリジョン	タミヤカラー(アクリル・エナメル)	タミヤカラー(ラッカー)	ガイアノーツ・ガイアカラー	English
1 ホワイト(白)	H1 ホワイト(白)	N1 ホワイト(白)	X2 ホワイト	LP2 ホワイト	001 ビュアホワイト	Gloss White
3 レッド(赤)	H3 レッド(赤)	N3 レッド(赤)	X7 レッド		003 ブライトレッド	Red
5 ブルー(青)	H5 ブルー(紺)	N5 ブルー(青)	X4 ブルー		004 ウルトラブルー	Blue
8 シルバー(銀)	H8 シルバー(銀)	N8 シルバー(銀)	X11 クロームシルバー	LP11 シルバー	009 ブライトシルバー	Silver
12 オリーブドラブ1	H52 オリーブドラブ1	N52 オリーブドラブ1	XF62 オリーブドラブ	LP28 オリーブドラブ		Olive Drab
28 黒鉄色	H18 黒鉄色	N18 黒鉄色	X10 ガンメタル		020 ガンメタル	Gun Metal
33 つや消しブラック	H12 つや消しブラック	N12 つや消しブラック	XF1 フラットブラック	LP3 フラットブラック	012 フラットブラック	Matt Black
50 クリアブルー	H93 クリアブルー	N93 クリアブルー	X23 クリヤーブルー	LP68 クリヤーブルー	044 クリアブルー	Clear Blue
55 カーキ	H81 カーキ	N81 カーキ	XF49 カーキ	LP73 カーキ		Khaki
57 青竹色	H63 青竹色	N63 青竹色	X13 メタリックブルー			Metallic Blue Green
61 焼鉄色	H76 焼鉄色	N76 焼鉄色	XF7+XF56			Burnt Iron
92 セミグロスブラック			X18 セミグロスブラック	LP8 セミグロスブラック	022 セミグロスブラック	Semi Gloss Black
137 タイヤブラック	H77 タイヤブラック	N77 タイヤブラック	XF85 ラバーブラック	LP65 ラバーブラック	075 ニュートラルグレー-V	Tyre Black
305 グレーFS36118					074 ニュートラルグレー-IV	
307 グレーFS36320						
308 グレーFS36375						
316 ホワイトFS17875					071 ニュートラルグレー-I	FS17875
317 グレーFS36231			XF54 ダークシーグレイ		074 ニュートラルグレー-IV	FS36231
324 ライトグレー			XF19 スカイグレイ		072 ニュートラルグレー-II	Light Gray
325 グレーFS26440			XF20 ミディアムグレー		219 FS36440ライトグレー	FS36440
327 レッドFS11136			X7 レッド		003 ブライトレッド	FS11136
329 イエローFS13538					005 サンシャインイエロー	FS13538

■ 部品を破損・紛失された際は

紛失・破損などにより部品を請求される方はランナー(枠)単位で有償にてお付けいたします。下記の部品請求カード(コピー可)の必要ランナー名を○で囲みます。代金(消費税・送料込)を右記お支払い方法からお選びいただき、当社アフターサービス係(宛先は右下記載)までお申し込みください。いずれのパーツも本カード1枚につき1キット分に限りさせていただきます。製品はその仕様もしくは価格を予告無く変更することがございます。

Firemolds ◆部品請求カード			
No. FP38 航空自衛隊 F-4EJ改 戦闘機			
A	¥750	K	¥350
B	¥500	L2	¥400
C	¥400	Y	¥400
D	¥400	Z	¥400
E	¥400	デカル	¥750
F	¥500	説明書	¥500
G	¥350		

Use Only in Japan

■ ご注文とお支払い方法

●「定額為替」「現金書留」「銀行振込」にてご送金の場合
左下欄の部品請求カード(コピー可)の必要ランナー名を○で囲み、お名前・ご住所・電話番号を書き添えたメモを同封いただき、定額為替、現金書留の場合は共に郵送してください。郵便振替または銀行振込にてお支払いの場合は、部品請求カードとお振込(予定)日・お振込人名を別途郵送ください。

郵便振替の場合は払込用紙の通信欄に「製品番号、品名、ランナー名(部品枠)、数量」をご記入ください。ご入金を確認でき次第発送いたします。為替手数料あるいは振込手数料、送料はお客様にてご負担ください。切手での送金はお受けできません。ご了承ください。

●代金引換(到着時にお支払い)にてご注文の場合

部品請求カード記載のパーツ代金に代引手数料300円を加算した金額がお支払いの総額となります。ご希望の製品番号と製品名・部品番号とお届け先・お電話番号をファックスまたはEメールでお知らせください。ご注文時にいただいたお客様の個人情報は当該商品の発送および発送記録確認以外の目的には使いません事をお約束いたします。

■郵便振替口座:
00840-2-21475
加入者名
(有)ファインモールド

■銀行振込口座:
三菱UFJ銀行 豊橋支店
普通 5369261
有)ファインモールド

有限会社ファインモールド

〒441-3301
愛知県豊橋市老津町場53-2
TEL:0532-23-6810 FAX:0532-23-6811
※お電話でのお問い合わせ対応時間:
土・日・祝・夏期および年末年始の休業日を除く
午前9時30分～午後5時30分

インターネットホームページ
<http://www.finemolds.co.jp>

Eメールアドレス:
otemami@finemolds.co.jp

© 2020 Fine Molds Made in Japan

塗装とマーキング

Painting & Marking

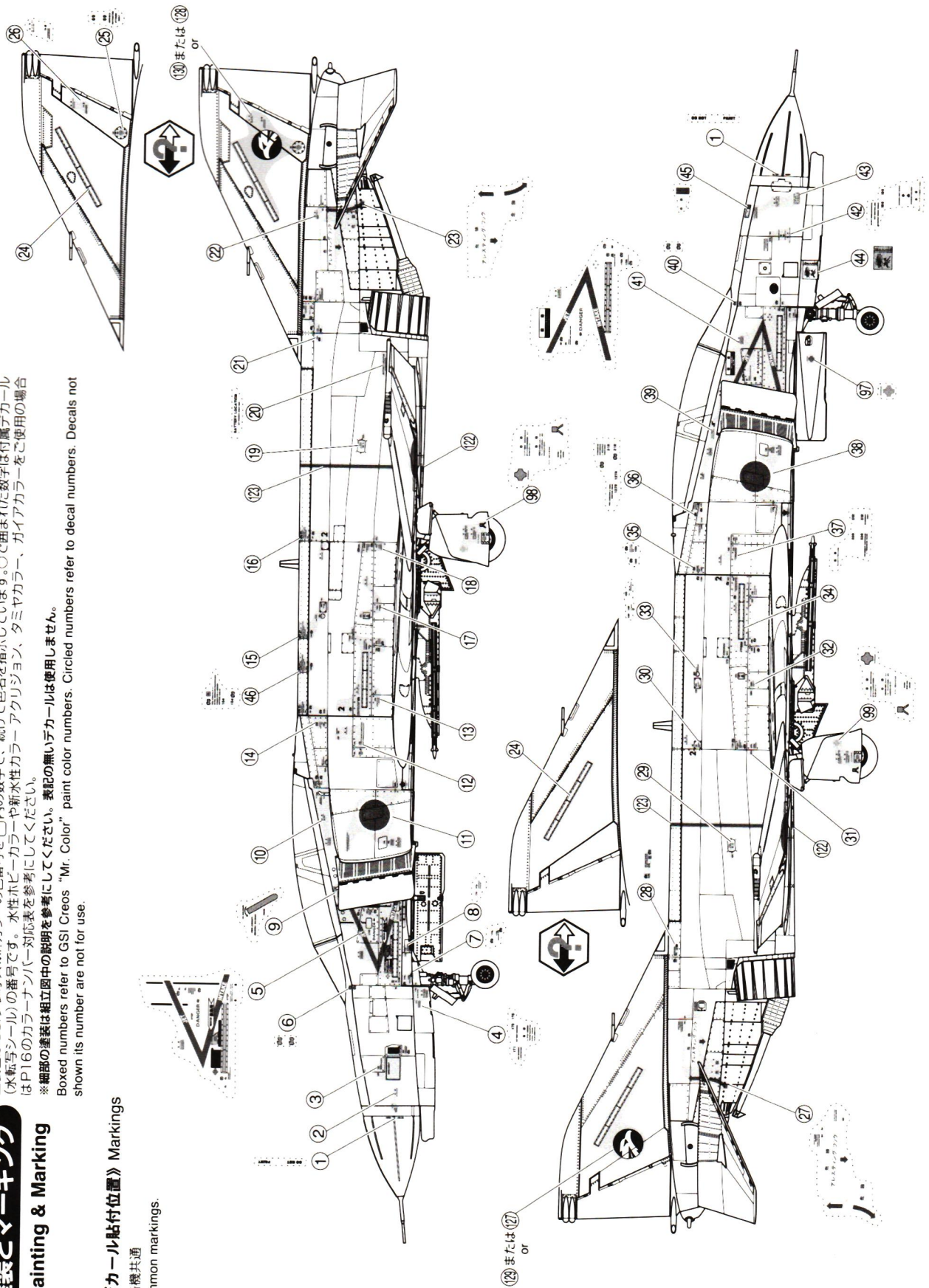
塗装色はGSIクレオスMr.カラーの色番号を□内の数字で、続いて色名を指示しています。○で囲まれた数字は付属デカール(水転写シール)の番号です。水性ホビーカラーや新水性カラー・アクリジョン、タミヤカラー、ガイアカラーをご使用の場合にはP16のカラーナンバー対応表を参考にしてください。

※細部の塗装は組立図中の説明を参考にしてください。表記の無いデカールは使用しません。

Boxed numbers refer to GSI Creos "Mr. Color" paint color numbers. Circled numbers refer to decal numbers. Decals not shown its number are not for use.

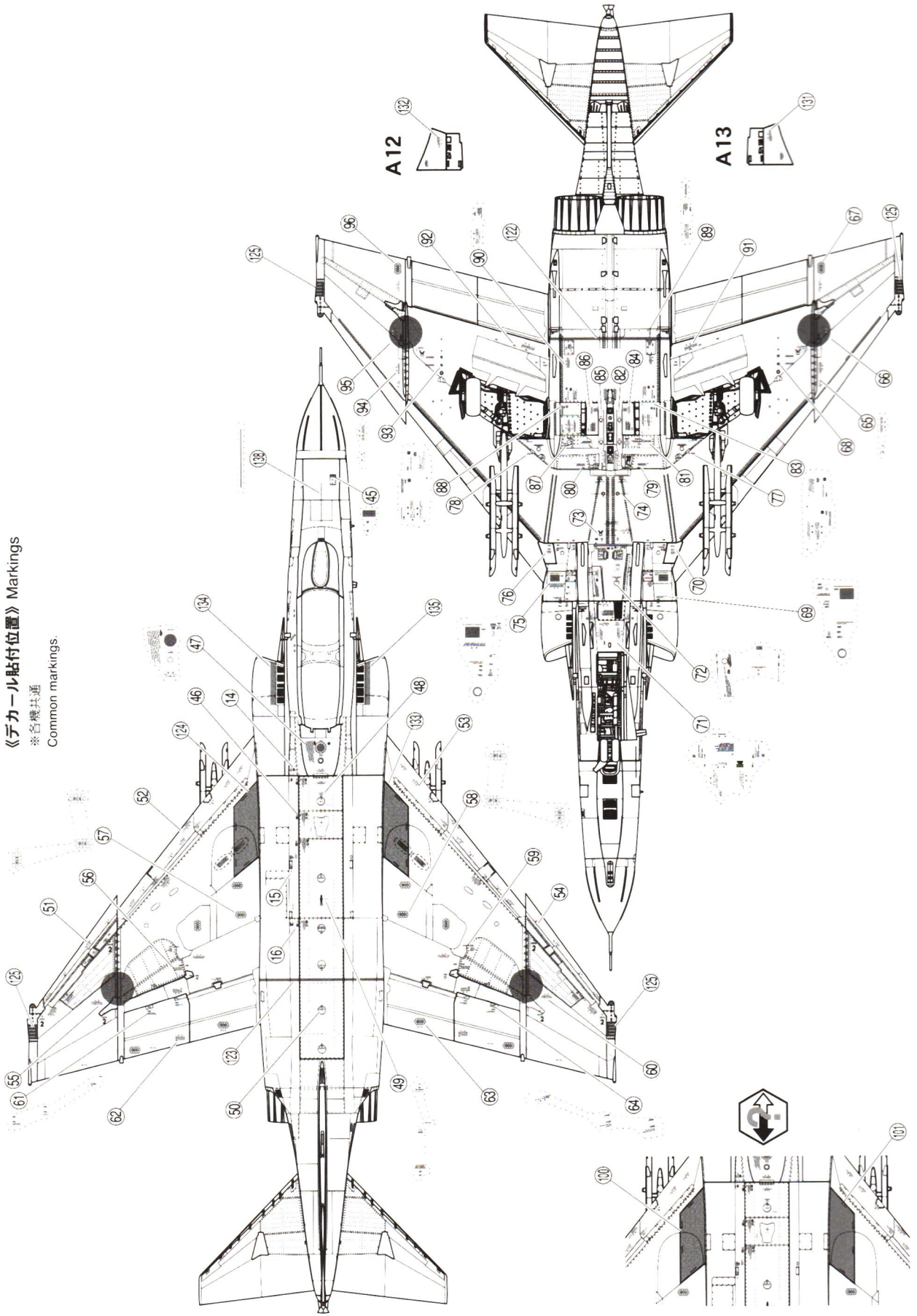
《デカール貼付位置》 Markings

※各機共通
Common markings.



《デカール貼付位置》 Markings

※各機共通
Common markings.



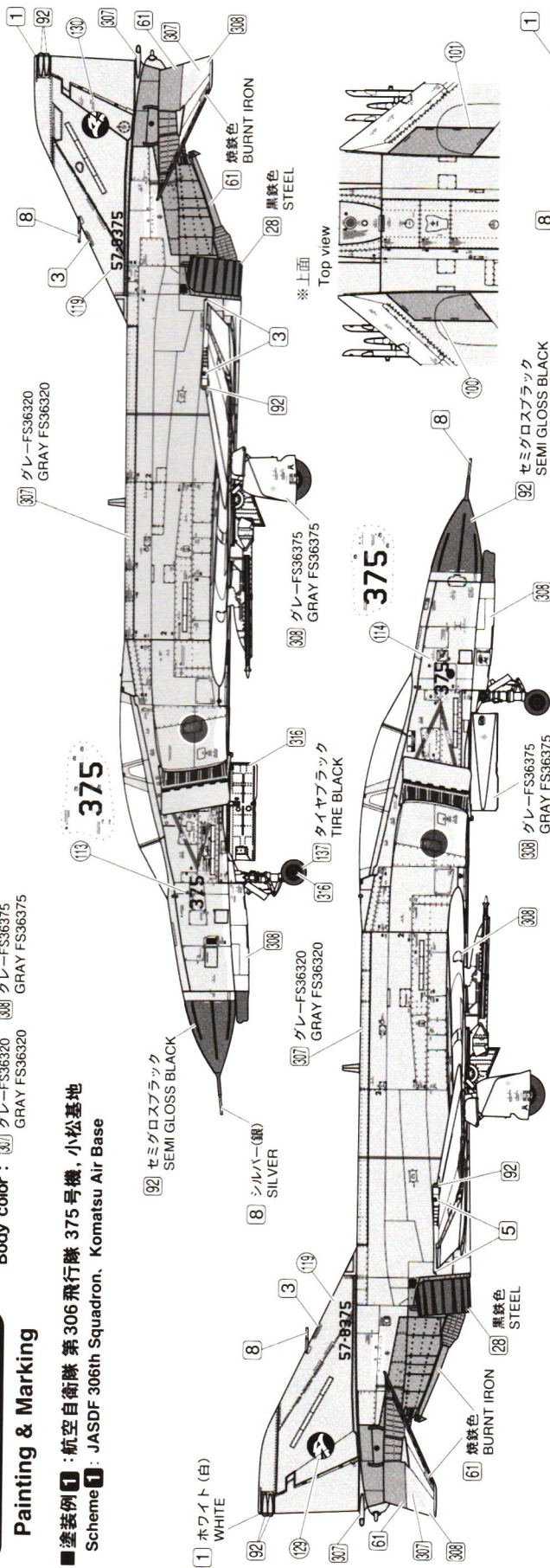
塗装とマーキング

Painting & Marking

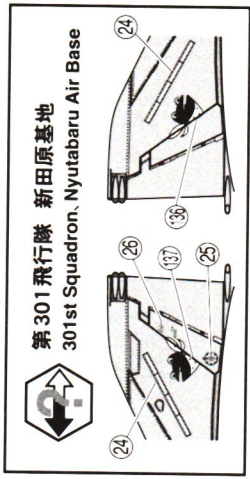
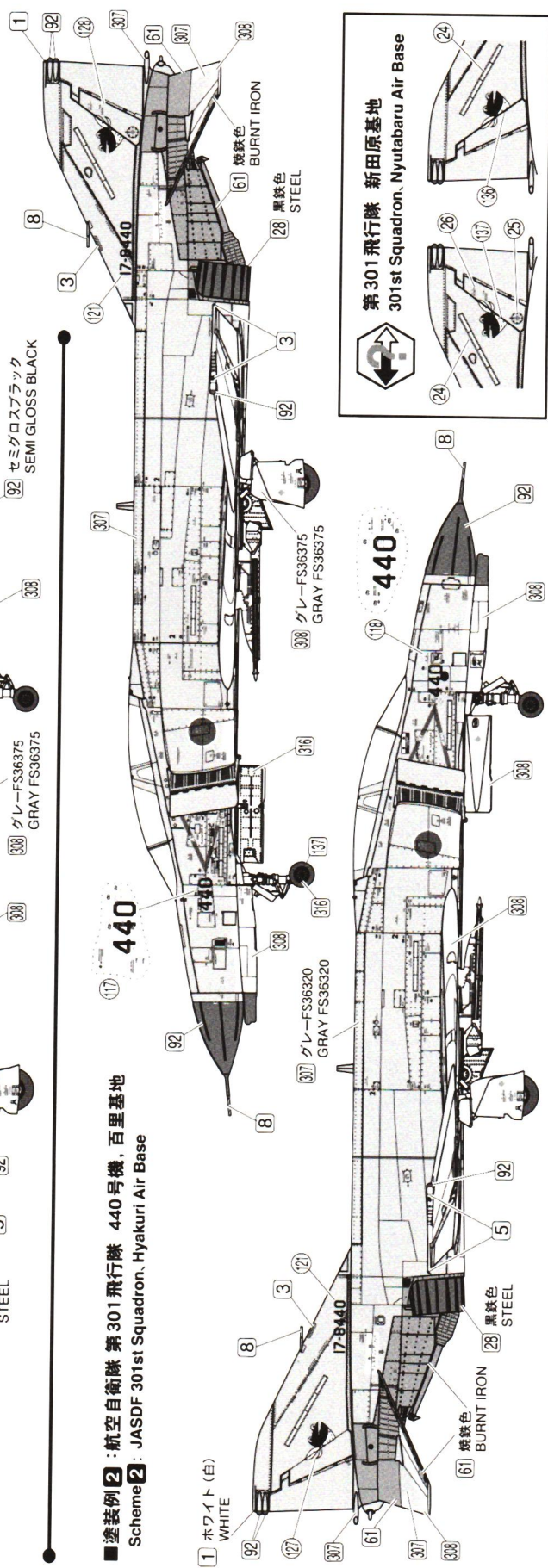
機体色:

Body color : 37 グレー-FS36320 GRAY FS36375
 38 グレー-FS36320 GRAY FS36375

■ 塗装例 1 : 航空自衛隊 第306飛行隊 375号機, 小松基地
 Scheme 1 : JASDF 306th Squadron, Komatsu Air Base

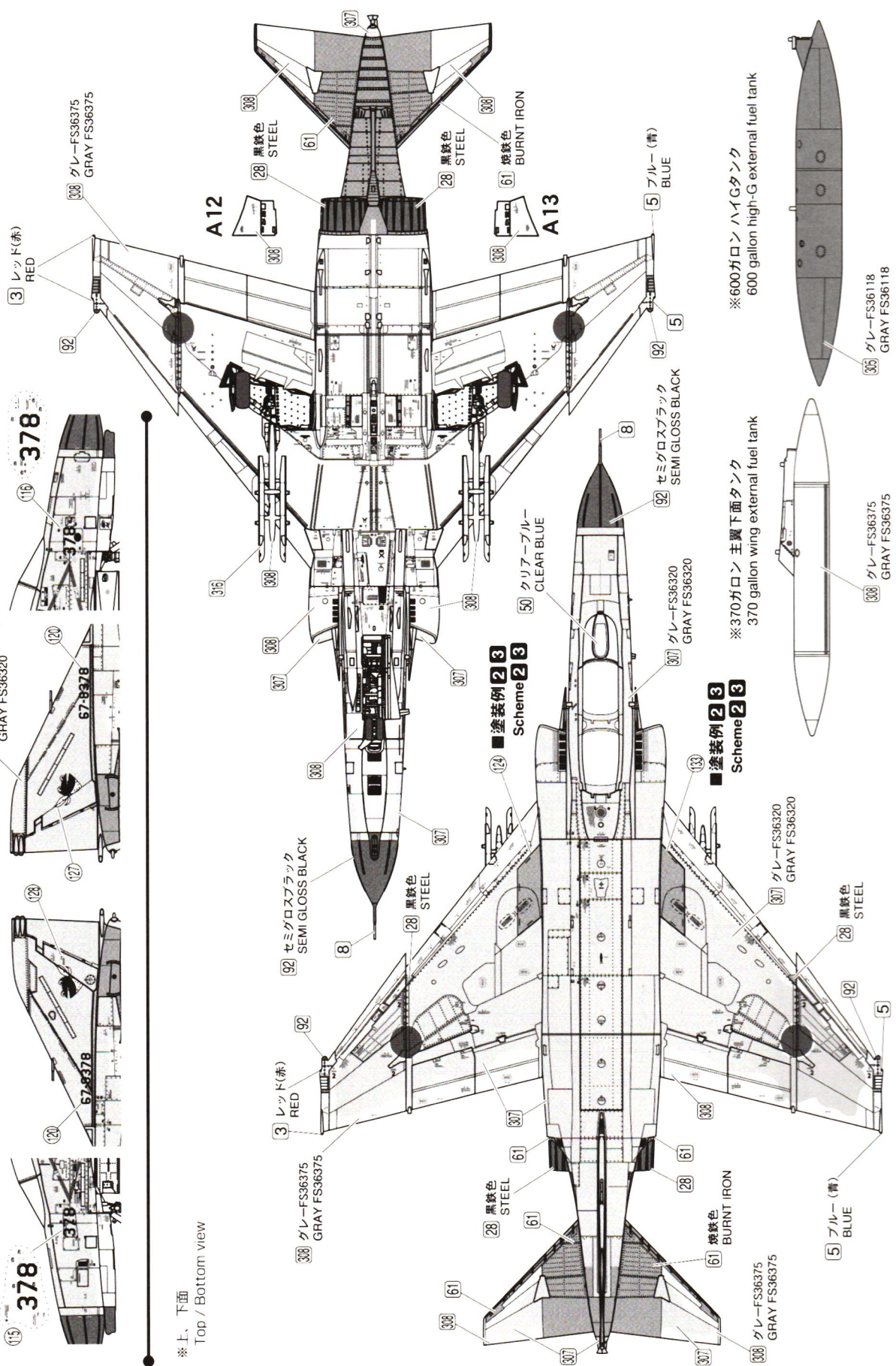


■ 塗装例 2 : 航空自衛隊 第301飛行隊 440号機, 百里基地
 Scheme 2 : JASDF 301st Squadron, Hyakuri Air Base

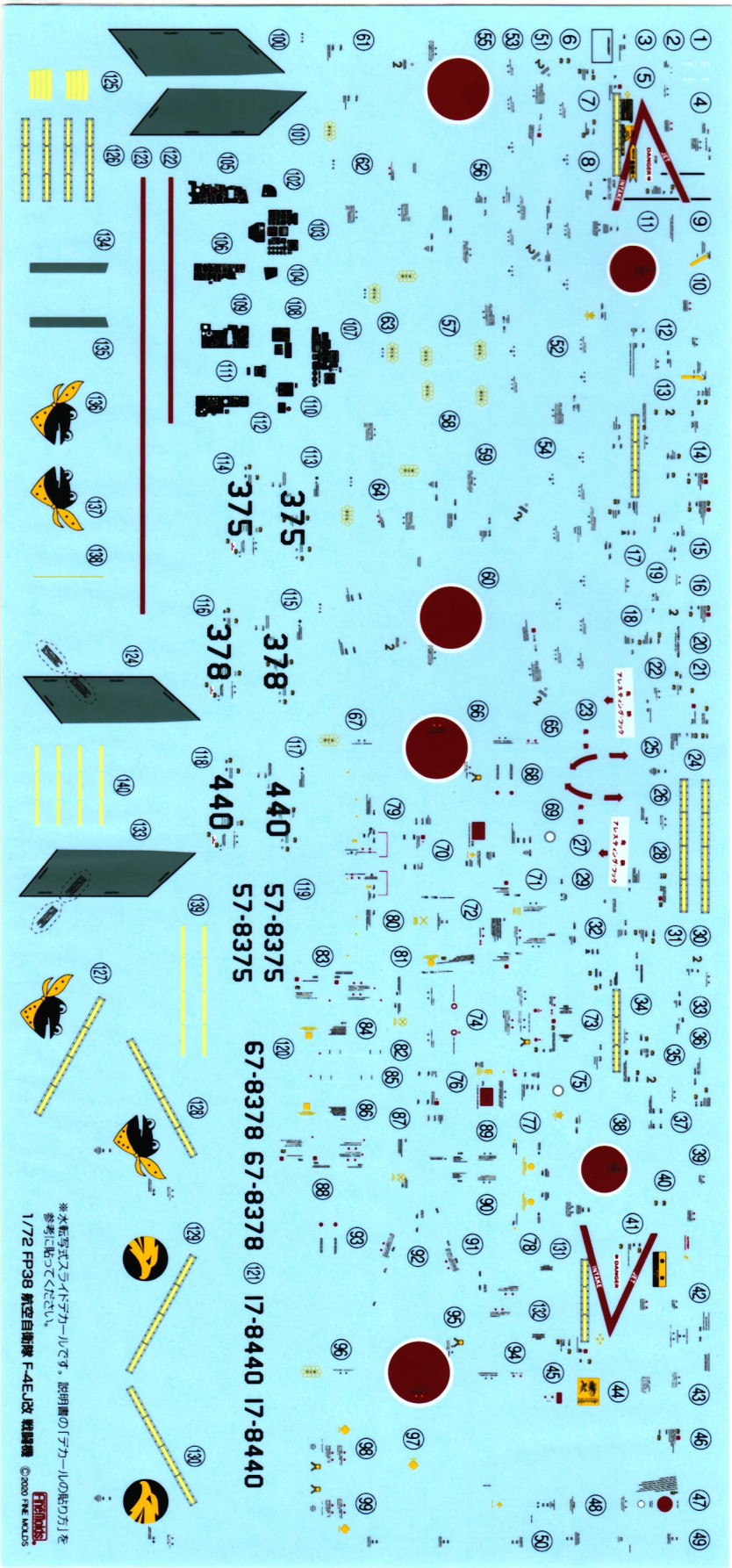


第301飛行隊 新田原基地
 301st Squadron, Nyutabaru Air Base

■ 塗装例 3 : 航空自衛隊 第301飛行隊 378号機, 百里基地
 Scheme 3 : JASDF 301st Squadron, Hyakuri Air Base



※ 上、下面
 Top / Bottom view



※本航空式ミニモデルキットです。説明書の「モデルの作りかた」を参考にしてください。
 1/72 F-4EJ 航空自衛隊 F-4EJ改 戦闘機 ©2020 THE MOLDERS

